

SRHR *white paper* 2025

一億人のためのSRHR調査

SRHR *for* JAPAN

調査の背景

日本では、誰もが自分らしく生きるために不可欠なSRHR（性と生殖に関する健康と権利）について、

いまだ十分に認識・尊重されていない側面が多く存在する。

本調査は、SRHRをすべての人に保障する社会の実現に向け、日本における現状を把握することを目的として実施したものである。

全国1万人を対象に、日常生活の中で人々が何を大切に思い、どのような選択や権利が十分に守られていないと感じているのかを明らかにすることを試みた。

また、単年度的な試みとして、SRHRに関連するテーマの中でも昨今社会で取り上げられることの多い「性的同意」に関する実態の把握も試みている。

注目のポイント

- ☒ SRHRの認知・理解は若年層で進んでおり、上の年代層とギャップが生まれている。
- ☒ SRHRを「大切だと思う意識（重要意識）」の高さほど、「日常生活で尊重されている実感（尊重実感）」は伴っていないことが明らかに。
- ☒ 男性（特に20-40代）は、女性よりも重要意識・尊重実感が共に低く、性別によるSRHR関与のギャップもうかがえた。
- ☒ 性的同意については、「大切だと思う意識」は社会に浸透してきているが、確実に実施できている人は少ない実態が明らかに。

SUMMARY

	全体	15歳-20代	女性	男性
認知・理解	認知：25% 理解：9% 認知経路：テレビ、インターネット	年代ギャップ 認知：36% 理解：16% 認知経路：SNS、学校の授業	認知：20% 理解：6%	男女のギャップ 認知：30% 理解：12%
大切だと思う意識	56% (H層比率) ① 結婚の自由・選択権 ② 妊娠等での医療アクセス ③ 恋愛の自由・選択権	54% (H層比率) ① 子供を持つ・持たない自由 ② 妊娠等での医療アクセス ③ 恋愛の自由・選択権	69% (H層比率) ① 性行為の決定権 (30-50代)	45% (H層比率) ④-⑤ 性行為の決定権 (30-40代)
尊重されている実感	35% (H層比率) ① 恋愛の自由・選択権 ② 結婚の自由・選択権 ③ 体のプライバシー権	33% (H層比率) ① 恋愛の自由・選択権 ② 子供を持つ・持たない自由 ③ どのような性を表現するかの自由	42% (H層比率) ④ 性行為の相手を選ぶ自由	29% (H層比率) ⑨ 性行為の相手を選ぶ自由
重要意識と尊重実感のギャップ	重要・尊重ギャップ 「性感染症や生殖器のがんに対する医療やケア」「性と生殖の健康に関する情報にアクセスできる」「妊娠・出産・不妊治療に必要な医療やケアにアクセスできる」			
尊重されていない事柄	① ジェンダーに基づく暴力・強制がない ② 正しい性の情報へのアクセス ③ 安全で喜びある性行為	① ジェンダーに基づく暴力・強制がない ② 正しい性の情報へのアクセス ③ 性感染症や生殖器がんなどの医療ケアへのアクセス	① ジェンダーに基づく暴力・強制がない ② 安全で喜びある性行為 ③ 性行為の決定権	① ジェンダーに基づく暴力・強制がない ② 性行為の相手を選ぶ自由 ③ 正しい性の情報へのアクセス

非尊重意識

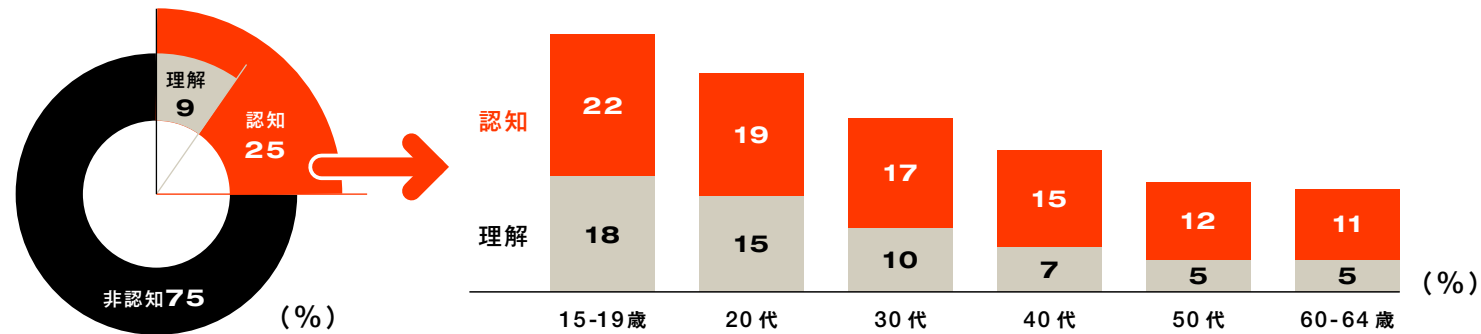
SRHRの浸透状況

日本のSRHR認知率は3割未満。若者世代で認知と理解が進み、上の年代との間に知識差が。



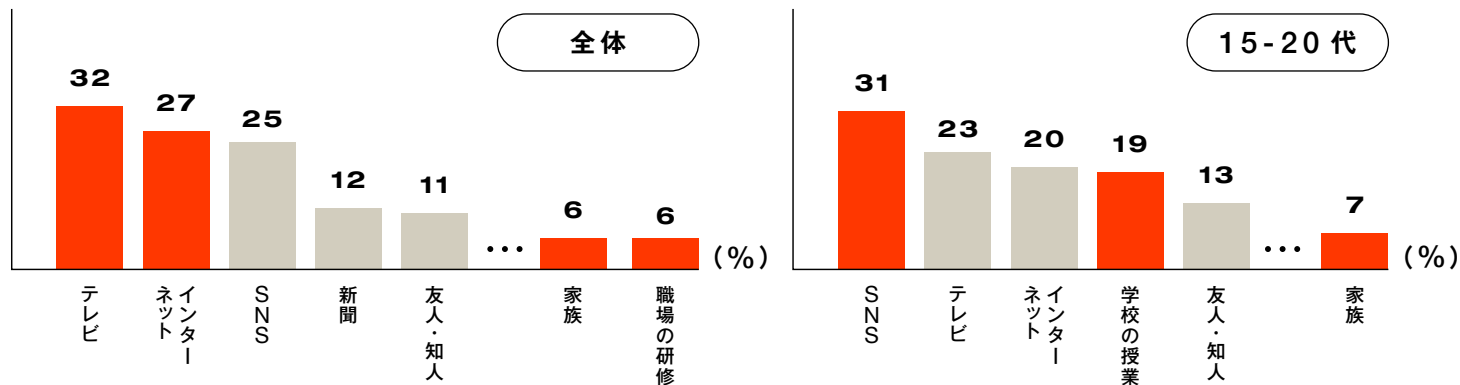
日本のSRHR認知率は25%、理解は9%。若年層ほど認知率・理解率が高い。

SRHR認知・理解率



認知経路は「テレビ」「インターネット」など。若年層は「SNS」「学校教育」が特徴。「家族」「職場」経由は1割に満たない。

認知経路



若

年層でSRHRの認知・理解が進んでいる背景には、近年の学校教育における性教育カリキュラムが次第に充実してきていることや、SNSが重要な役割を果たしていると考えられる。一方、上の世代の認知・理解率は若者層を大きく下回り、テレビなどのマスメディアやインターネットが主な認知経路。若い頃に包括的な性教育を受ける機会が少なかったうえ、成熟した今も画一的な学び直しの場がないため、人によって情報格差が大きく、若者世代の知識に追いついていない状況がうかがえる。

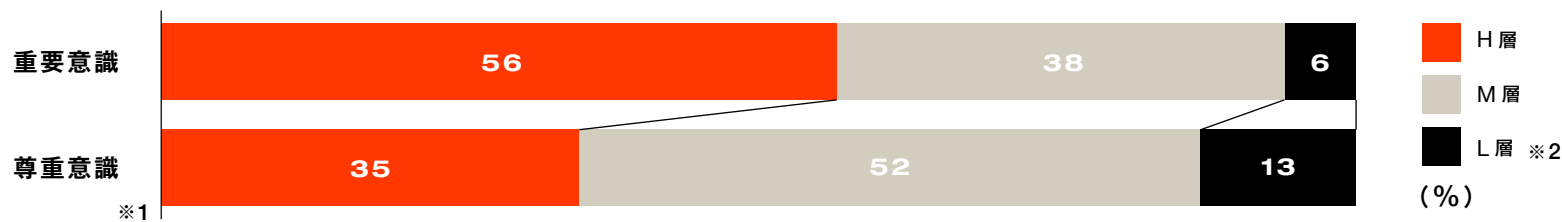
認知経路において「家族・職場からの情報」は1割を切る。家庭や職場といった身近な情報源が機能していない現状は、社会全体において対話不足である状況、およびSRHRが依然として「語りにくいテーマ」であることを物語っている。

大切に思う気持ちと 尊重されている実感のギャップ

SRHRを「大切に思う気持ち」ほど「尊重されている実感」は及んでいないことも明らかに。
特に「病気・妊娠・出産・不妊治療に必要な医療」「正しい情報へのアクセス」にギャップ。



SRHRの重要意識の高さほど、尊重実感が伴っていない。



特に、医療アクセスや情報へのアクセスで、重要意識と尊重実感のギャップが大きい。

全体でギャップの大きな項目TOP3

	差分	重要 TOP2スコア	尊重 TOP2スコア
1 性感染症や生殖器のがんに対する医療やケアへのアクセス	21	85	64
2 性と生殖の健康に関する情報へのアクセス	20	84	64
3 妊娠・出産・不妊治療などに必要な医療やケアへのアクセス	20	86	66
			(%)

「大切に思っている気持ち」と、実際にそれらが「尊重されている実感」の間の大きな隔たりが明らかに。特に、医療や正しい情報へのアクセスでそのギャップが大きく、社会的・制度的フォローの不足が背景要因として浮かび上がる。

避妊や不妊治療、性感染症検査などに関するサービスは、まだまだ経済的負担や地域差が大きいことや、望まない妊娠に対する支援などに対する法制度・医療体制の課題も残っている。物理的・経済的な障壁だけでなく、社会的なスティグマなども影響し、性に関する悩みで医療機関を受診することに抵抗を感じたり、そもそも相談先を知らなかったりする人も多い実態を反映していると考えられる。

情報アクセスに関しても、興味を持ったとしても、なかなか正しい知識にたどり着けない日本の実態がうかがえる。

大切だと思うSRHR 性年代別ランキング

結婚・出産など人生設計に関わることは、性年代問わず重要視される傾向。

性年代で大切に思う項目にはバラツキがあり、例えば「性的な行為の決定権」では男女間でギャップが。

- ✓ 男女ともに、「恋愛・結婚・子の有無の自由」や、「妊娠等での医療ケアアクセス」がほとんどの年代で上位5番内に入る。
- ✓ 「性的な行為の決定権」は、女性30-50代は9割超が重視し、項目のなかで最も反応率が高い。一方、男性30-40代の重視率は8割にとどまり、反応率は4-5番目。
女性(30-50代)は「性的な行為の決定権」を高く重視する一方、男性(30-40代)は女性ほど重視しておらず、ギャップがうかがえる。
- ✓ 「体のプライバシー権」については、男女ともに10代と、50-60代が重視している傾向がうかがえる。

重要意識 TOP2 ランキング (%)

男性 15 歳 -	男性 20 代	男性 30 代	男性 40 代	男性 50 代	男性 60 代
1. 子供を持つ・持たないの自由 85	1. 子供を持つ・持たないの自由 80	1. 妊娠等での医療ケアへのアクセス 81	1. 妊娠等での医療ケアへのアクセス 81	1. 体のプライバシー権 85	1. 結婚の自由・選択権 89
2. 恋愛の自由・選択権 84	2. 妊娠等での医療ケアへのアクセス 79	2. 子供を持つ・持たないの自由 80	2. 結婚の自由・選択権 81	2. 結婚の自由・選択権 84	2. 恋愛の自由・選択権 88
3. 結婚の自由・選択権 84	3. 恋愛の自由・選択権 79	3. 恋愛の自由・選択権 79	3. 子供を持つ・持たないの自由 81	3. 恋愛の自由・選択権 84	3. 妊娠等での医療ケアへのアクセス 85
4. 妊娠等での医療ケアへのアクセス 83	4. 性的な行為の決定権 77	4. 性的な行為の決定権 79	4. 性感染症等の医療ケアへのアクセス 80	4. 性感染症等の医療ケアへのアクセス 82	4. 体のプライバシー権 85
5. 体のプライバシー権 83	5. 結婚の自由・選択権 77	5. 結婚の自由・選択権 78	5. 性的な行為の決定権 80	5. 妊娠等での医療ケアへのアクセス 82	5. 安全で喜びのある性経験をもつこと 85
女性 15 歳 -	女性 20 代	女性 30 代	女性 40 代	女性 50 代	女性 60 代
1. 妊娠等での医療ケアへのアクセス 92	1. 結婚の自由・選択権 89	1. 性的な行為の決定権 93	1. 性的な行為の決定権 90	1. 性的な行為の決定権 94	1. 体のプライバシー権 95
2. 子供を持つ・持たないの自由 91	2. 子供を持つ・持たないの自由 89	2. 妊娠等での医療ケアへのアクセス 92	2. 体のプライバシー権 90	2. 結婚の自由・選択権 94	2. 避妊の自由・選択権 94
3. 体のプライバシー権 90	3. 妊娠等での医療ケアへのアクセス 89	3. 結婚の自由・選択権 92	3. 子供を持つ・持たないの自由 90	3. 体のプライバシー権 94	3. 結婚の自由・選択権 94
4. 性と生殖に関する情報へのアクセス 90	4. 恋愛の自由・選択権 88	4. 子供を持つ・持たないの自由 92	4. 結婚の自由・選択権 90	4. 恋愛の自由・選択権 93	4. 恋愛の自由・選択権 93
5. 性感染症等の医療ケアへのアクセス 90	5. 性的な行為の決定権 87	5. 恋愛の自由・選択権 92	5. 恋愛の自由・選択権 90	5. 避妊の自由・選択権 93	5. 妊娠等での医療ケアへのアクセス 93

尊重されているSRHR 性年代別ランキング

「恋愛・結婚の自由」や「体のプライバシー権」などは、性年代問わず尊重されている実感が高い。
一方「どのような性を表現するか」の自由は、若年層でのみ尊重実感があるなど、性年代で傾向が異なる事柄も。

- ✓ 性年代問わず「恋愛・結婚の自由」「体のプライバシー権」は尊重されている実感が高い。
- ✓ 「どのような性で生きる・表現するか」については、男女ともに若年層が5番内に入る一方、上の年代層では上位5番内に入らず。
- ✓ 「性的な行為をする相手を選ぶ自由」については、女性で上位5番内に入るものの、男性では上位5番内に入らず。

尊重実感 TOP2 ランキング (%)

男性 15 歳 -	男性 20 代	男性 30 代	男性 40 代	男性 50 代	男性 60 代
1. 恋愛の自由・選択権 74	1. 子供を持つ・持たないの自由 69	1. 子供を持つ・持たないの自由 68	1. 恋愛の自由・選択権 68	1. 結婚の自由・選択権 68	1. 体のプライバシー権 71
2. 子供を持つ・持たないの自由 72	2. 恋愛の自由・選択権 69	2. 恋愛の自由・選択権 68	2. 体のプライバシー権 66	2. 恋愛の自由・選択権 68	2. 恋愛の自由・選択権 70
3. 体のプライバシー権 71	3. どのような性を表現するか 68	3. 体のプライバシー権 67	3. 結婚の自由・選択権 65	3. 体のプライバシー権 66	3. 結婚の自由・選択権 70
4. 結婚の自由・選択権 71	4. 妊娠等での医療ケアへのアクセス 65	4. 結婚の自由・選択権 66	4. 子供を持つ・持たないの自由 65	4. 子供を持つ・持たないの自由 65	4. 避妊の自由・選択権 68
5. どのような性を表現するか 70	5. 結婚の自由・選択権 65	5. どのような性を表現するか 64	5. 安全で喜びのある性経験をもつこと 64	5. 避妊の自由・選択権 65	5. 子供を持つ・持たないの自由 68
		80			
女性 15 歳 -	女性 20 代	女性 30 代	女性 40 代	女性 50 代	女性 60 代
1. 恋愛の自由・選択権 80	1. 恋愛の自由・選択権 81	1. 恋愛の自由・選択権 81	1. 恋愛の自由・選択権 79	1. 体のプライバシー権 83	1. 体のプライバシー権 83
2. 体のプライバシー権 79	2. 性的な行為の相手を選ぶ自由 79	2. 結婚の自由・選択権 80	2. 結婚の自由・選択権 79	2. 結婚の自由・選択権 83	2. 恋愛の自由・選択権 82
3. 結婚の自由・選択権 77	3. どのような性を表現するか 78	3. 体のプライバシー権 80	3. 体のプライバシー権 78	3. 恋愛の自由・選択権 82	3. 結婚の自由・選択権 82
4. 子供を持つ・持たないの自由 76	4. 体のプライバシー権 77	4. 性的な行為の相手を選ぶ自由 80	4. 子供を持つ・持たないの自由 78	4. 性的な行為の相手を選ぶ自由 81	4. 性的な行為の相手を選ぶ自由 82
5. どのような性を表現するか 75	5. 子供を持つ・持たないの自由 77	5. 避妊の自由・選択権 80	5. 性的な行為の相手を選ぶ自由 77	5. 避性的な行為の決定権 81	5. 性的な行為の決定権 78

尊重されていない SRHR ランキング

「ジェンダーに基づく暴力や強制がないこと」は、世代問わず尊重されていない。
若者は「正しい性の情報へのアクセス」「性感染症や生殖器のがんに対する医療やケアへのアクセス」を課題視。



全体で「ジェンダーに基づく暴力や強制がない」が最も尊重されていない。特に男女 20-30代はその意識が強い。

尊重度
BTM2
ランキング
(全体)

1. ジェンダーに基づく暴力や強制がないこと 7
2. 性と生殖の健康に関する情報へのアクセス 6
3. 安全で喜びのある性経験をもつこと 6
4. 性的な行為の決定権 6
5. 性感染症や生殖器のがんに対する医療やケアへのアクセス 6

(%)

女性であることだけで、社会的に不利な扱いをされたり、女のくせにと誣められたり、女性をターゲットにした性的な眼差しにさらされる。(女性 / 30 代)

男らしさや甲斐性のようなものを求められる。女性に比べて声をあげることも少なく、男女ともに男性像のアップデートはほとんどされていない。(男性 / 20 代)



若い世代は、「情報へのアクセス」「性感染症や生殖器のがんなどでの医療アクセス」も尊重されていない

尊重度
BTM2
ランキング
(15-20代)

1. ジェンダーに基づく暴力や強制がないこと 11
2. 性と生殖の健康に関する情報へのアクセス 9
3. 性感染症や生殖器のがんに対する医療やケアへのアクセス 8
4. 性安全で喜びのある性経験をもつこと 7
4. 避妊の自由・選択権 7
4. 体のプライバシー権 7

(%)

ネット上で情報が錯誤しており、何が正しい情報なのかが分からないから (女性 / 20 代)

未成年なので保護者から検索サービスのフィルタリングがかけられていて性にまつわるものにアクセスしづらい (女性 / 15-19 才)

性や生殖などを、やましいこととする世の中であるため、正しい情報を見かけることが少ないと感じるから (男性 / 15-19 才)

ど

の世代・性別でも共通して「ジェンダーに基づく暴力や強制がない」という項目が、最も

尊重されていないと感じられている。

性的対象として扱われる経験や性別役割の押し付けなど、日常的に「ジェンダー」による被害を受けていることが分かる。特に 20~30 代の若い男女でその意識が強く、仕事やプライベートの面で様々なジェンダー課題に直面している模様。

SRHR 認知・理解の高い若年層は、「性と生殖に関する正しい情報へのアクセス」も尊重されていないと感じている。せっかく高い関心を持って情報を求めても、学校教育・家庭・社会のいずれにおいても、信頼できる情報が十分に届いていない実態が明らかに。さらに、性 = やましいことと思っているのは大人側であることが浮き彫りになるコメントもあり、こども・若者の「知る権利」を大人側が奪ってしまっている可能性も示唆された。

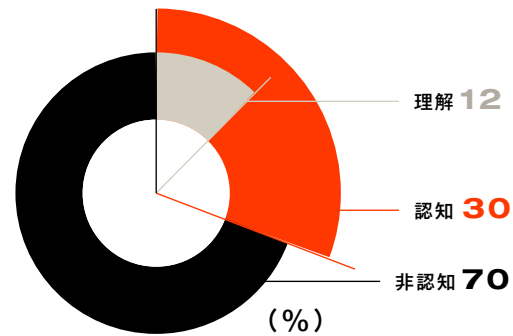
SRHRに対する 男女のギャップ

男性（特に20-40代）は女性よりも、重要意識・尊重実感が低く、
日常生活で権利が守られていない/権利が認識されていない可能性が示唆された。

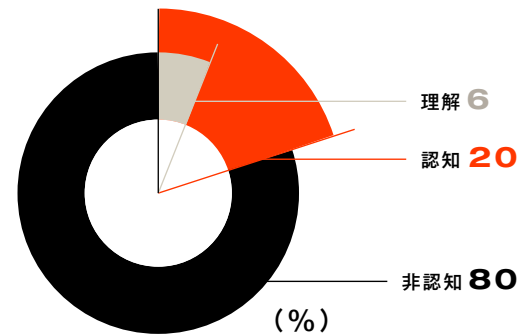


認知・理解率は、男性の方が女性よりも高い。

男性



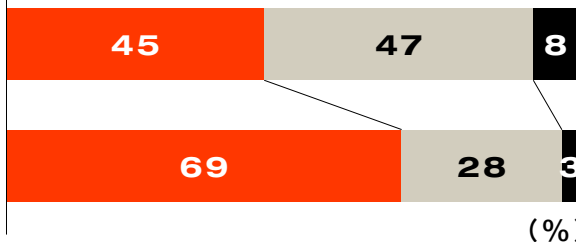
女性



一方、重要意識・尊重実感では、女性の方が男性よりも高い。

重要意識

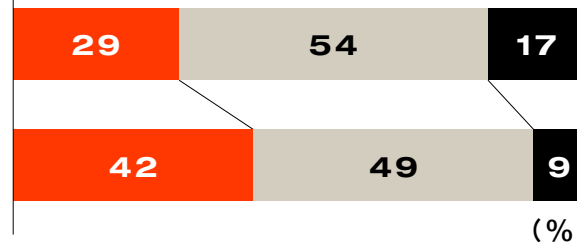
男性



女性



尊重意識



H層
M層
L層

男

男性の認知・理解率は女性よりも高く、一見「知っている」男性が多いように見える。一方、具体的な内容への重要意識・尊重実感は女性より低く、特に男性20-40代でその傾向が強い。

男性はSRHRを“(知っているも)自分のための権利として認識していない”、つまり当事者意識が育ちづらい現状を示していると考えられる。

そもそも、男性は日常の生活で自分のSRHRが尊重されている実感が少ないゆえに、重要意識も低い水準で止まっている可能性も。ジェンダーやSRHRについて語られる際、女性を対象とした文脈が多く、「男性も当事者である」「男性にもSRHRに関わる権利がある」という視点が欠けていることが多いことが関係しているかもしれない。

SRHRがすべての人を支える権利であることを啓蒙していく重要性がうかがえる。

尊重されていない SRHR 男女のギャップ

性における意思決定や合意形成において、男女双方の意識にズレが。相手の意思を尊重しつつ、自分の意思をコミュニケーションする重要性が浮き彫りに。



女性では、「ジェンダーに基づく暴力や強制がない」に次いで「安全で喜びのある性経験」が尊重されていないと感じる人が多い。

(女性)
尊重度
BTM
2
ラン
キン
グ

- | | |
|------------------------|-----|
| 1. ジェンダーに基づく暴力や強制がないこと | 6 |
| 2. 安全で喜びのある性経験をもつこと | 5 |
| 3. 性的な行為の決定権 | 5 |
| 4. 避妊の自由・選択権 | 5 |
| | (%) |

行為を強要されることが頻繁にあった。
不機嫌になるので仕方なく耐えていた。
喜びなどは一度も感じたことはない。
(女性 / 50 代)

基本的に性行為を好まないで、
相手に気遣って半ば無理にすることもあるため
(女性 / 40 代)



男性では、「性的な行為の相手を選ぶ自由」が尊重されていないと感じる人が多い。
“(性行為で) 応じてもらえない” ことに対する不満が大きい模様。

(男性)
尊重度
BTM
2
ラン
キン
グ

- | | |
|------------------------|-----|
| 1. ジェンダーに基づく暴力や強制がないこと | 8 |
| 2. 性的な行為の相手を選ぶ自由 | 8 |
| 3. 性と生殖の健康に関する情報へのアクセス | 7 |
| | (%) |

妻がしたい時にしか性行為ができない。
私の意向は無視される傾向
(男性 / 40 代)

こちらの要望はほとんど通らず、
相手の気分次第
(男性 / 50 代)

性

性における意思決定や合意形成において、男女双方の意識にズレがあることがうかがえる。

前述の重要意識ランキングでは、女性 (30-50 代) が「性行為の決定権」を強く重視する一方、男性は女性ほど重視しておらず、他の事柄をより重視していることがわかった。

さらに男性は、「性行為の相手を選ぶ自由」が尊重されていないと感じており、(パートナーはいても) 自分の望むタイミングで性行為ができないことへの不満がみられた。一方、女性では「安全で喜びのある性経験」が尊重されていないと感じる人が最も多く、OAでは“性行為の決定権が尊重されなかったエピソード”が寄せられた。

大前提、SRHR は、「したいときに性行為ができることを保証する権利」ではない点に留意したい。その上で「相手の意思を尊重すること」と同時に、「自分の意思をどう伝えるか」「断られたときにどう向き合うか」など、関係性の中でのコミュニケーションを学ぶ機会が不足していることの表れとも考えられる。特に性別役割意識が強く残る年代では、相手への配慮や自己決定の尊重といった視点が十分に育まれていないのかもしれない。

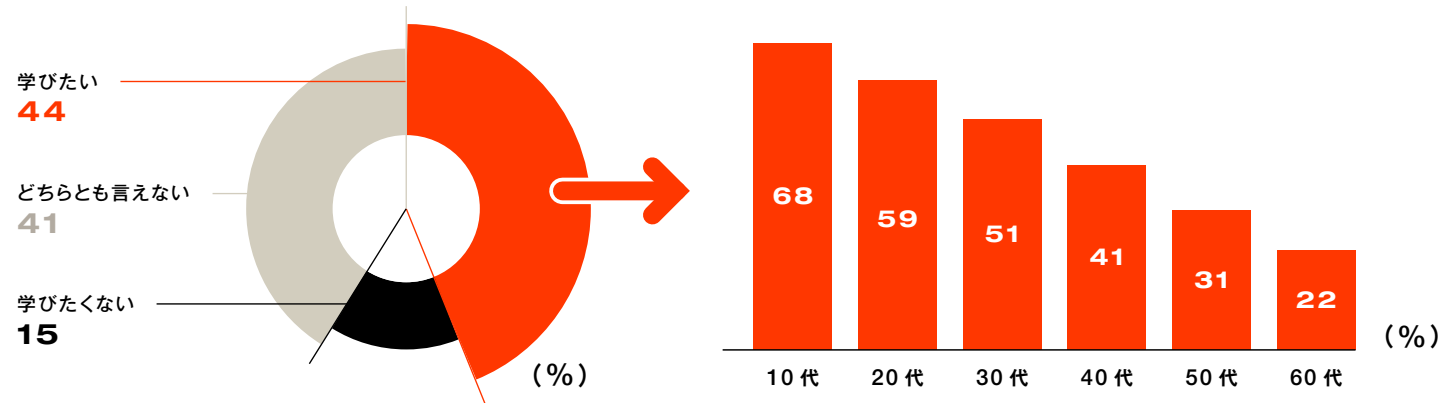
性の知識

性を学びたい10代は7割、年齢が上がるとともに意欲が急降下。
背景に、“性教育＝性行為の情報”の誤解がブレーキか。



性知識の学習意欲は、若年層ほど高い傾向。10代では7割に迫る。

性知識の学習意欲



若

い年代はSRHRの認知・理解も高いが、性の知識の学習意欲も高い結果に。

学習意欲のない理由としては、「自分には関係ない」「性の話は恥ずかしい」といった心理的障壁がある。

性の知識は、性行為に関する事柄に留まらず、ジェンダーの多様性やハラスメントなど、誰しもにとって大切な情報であることを認識してもらい、自分事化してもらう必要性がうかがえる。

学習意欲ありの理由

「学校ではオブラートに包みすぎて大事なところが欠けている」(男性 / 15-19 才)

「まだ日本は女性ばかりがリスクを負わないといけない部分が大きい。女性である自分が守りをする術を持つ必要があると思うから」(女性 / 15-19 才)

「男は男、女は女という時代で育ったため、今の多様性の時代に理解は出来るが考えが追いついていけない部分がある」(男性 / 50 代)

学習意欲なしの理由

「自身の年齢を考えると積極的に学ぶ必要はない」(男性 / 50 代)

「性に関する知識を学ぶのが恥ずかしいと思ってしまう。どうしても嫌悪感や羞恥心みたいなものがある。」(女性 / 15-19 才)

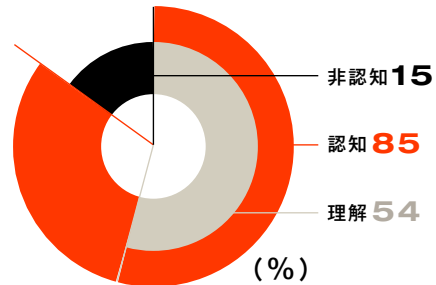
性的同意

「性的同意は大事」は常識化、それでも理解と実践はまだ定着途上。

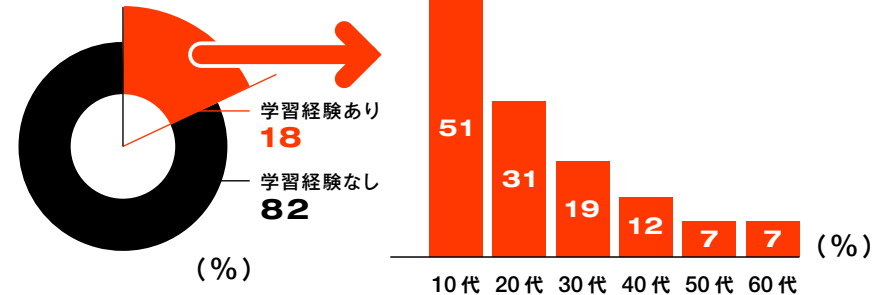


性的同意の認知は8割、しかし理解は5割代まで低下。若年層ほど学習経験がある。

性的同意の認知・理解

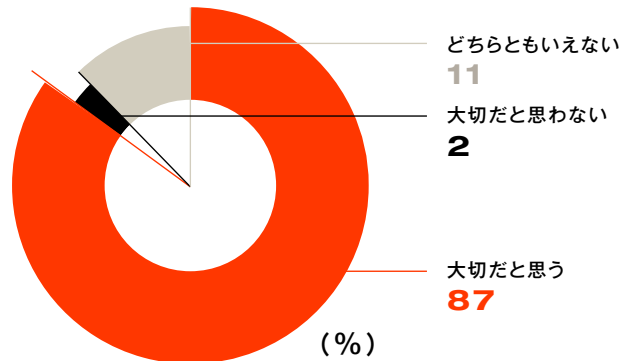


性的同意の学習経験

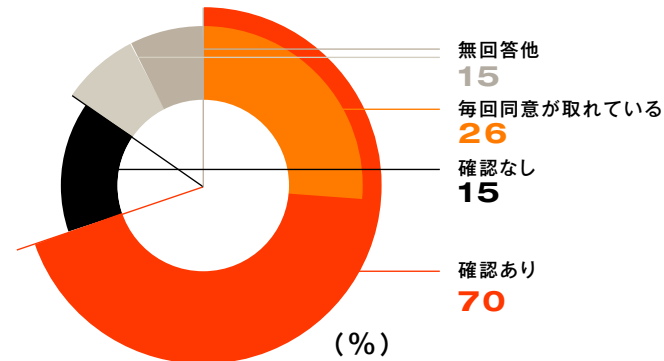


9割が性的同意を大切だと思う一方、毎回同意が取れている自信があるのは3割未満。

(交際経験ありベース) 性的同意の重要意識



(交際経験ありベース) 性的同意の実施実態



性

性的同意の認知は8割を超えるが、具体的な理解が伴っているのは世の中全体の半数に留まる。

「言葉を知っている」と「本質を理解している」ことの差が可視化されており、教育内容の見直しの必要性がうかがえる。また、若年ほど顕著に学習経験が高まる一方、学習経験があるのは全体で2割にとどまり、社会全体での「継続的な学び」や「学び直し(リスキリング)」の必要性がうかがえる。

交際経験ありベースで、性的同意を重要視する意識は9割と高いものの、毎回同意が取れている自信があるのは3割に満たず、重視度との間にはギャップが。「性的同意は大事」という認識が広がってきている一方で、それが実践につながっていない現状が改めて浮き彫りに。特に上の年代では、学校などで「性的同意」という概念そのものを学ぶ機会がなかったため、実践的な理解や態度の形成が不十分なまま大人になっている人も多いと考えられる。結果として、パートナー間のすれ違いや不同意性交につながっている可能性がある。

調査概要

調査目的

経年の大規模調査を通して、日本のSRHRに関する現状を把握する

【定点パート】 SRHRの浸透状況/実態について、経年で聴取する

【トピックパート】 SRHRに関連するトピックについて、単年で聴取する（第一回：性の知識、性的同意）

調査手法

Web定量調査

調査パネル：マクロミルパネル

調査委託先：QO株式会社

エリア

全国

サンプル数

【本調査】10,000ss

対象者 /割付

男女×15-64歳

若年層（10-20代）に比重を置いて回収

※集計時にエリア×性年代構成比に合わせてウェイトバック

No.	セル名称	サンプル数	性別	年齢
1	男性15-19歳	940	男性	15-19
2	男性20-29歳	1144		20-29
3	男性30-39歳	833		30-39
4	男性40-49歳	833		40-49
5	男性50-59歳	833		50-59
6	男性60-64歳	417		60-64
7	女性15-19歳	940	女性	15-19
8	女性20-29歳	1144		20-29
9	女性30-39歳	833		30-39
10	女性40-49歳	833		40-49
11	女性50-59歳	833		50-59
12	女性60-64歳	417		60-64
計		10,000		

実査期間

【本調査】2025年 4月 25日（金）～ 4月 28日（月）

定点パート

SRHRの実態把握

p.15

トピックパート

性の知識

p.48

性的同意

p.55

Appendix

p.64

調查結果詳細

定点パート

2025年度結果

Key Takeaways

SRHR 浸透状況

- 日本のSRHR認知率は**24.7%**、理解率は**9.2%**
- **若年層ほどSRHRの認知・理解が進んでいる**模様。若年層に特徴的な認知経路は「SNS」や「学校の授業」

SRHR 重要意識

- 全体層とターゲット層で、重要意識の構成比傾向に違いはなく、H層で5割半ほど。
- **女性の方が、男性よりもH層比率が高く、L層比率が低い**
- **男性は、特に20-40代でH層比率が低く、L層比率が高い**

SRHR 尊重実感意識

- 全体層とターゲット層で、尊重実感意識の構成比傾向に違いはなく、H層で3割前半。
- **女性の方が、男性よりもH層比率が高く、L層比率が低い**
- **男性は、特に20-40代でH層比率が低く、L層比率が高い**

重要意識と 尊重実感意識 のギャップ

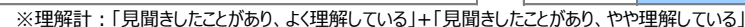
- 性年代問わず、**重要意識の高さ（H層比率）ほど尊重実感意識（H層比率）は伴わずギャップが伺える**
- 全体層とターゲット層では、上記ギャップの大きさは同程度
- 女性は重要意識（H層比率）が高い分、男性よりもギャップが大きい結果に
- ギャップの大きな項目としては、**性年代問わず「性感染症や生殖器のがんに対する医療やケア」「妊娠・出産・不妊治療に必要な医療やケアにアクセスできる」「性と生殖の健康に関する情報にアクセスできる」**

SRHRの実態把握

認知・理解とその経路

- 全体でみると、SRHRの理解は1割弱、認知は2割中盤。ターゲット層の理解は1割中盤、認知は3割中盤と、全体に比べ高い水準。
- 性年代でみると、若年層ほど理解・認知スコアが高く、SRHRの浸透が進んでいる様子。
- 女性よりも男性の認知・理解が高い結果に。

$n=30$ 以上の場合



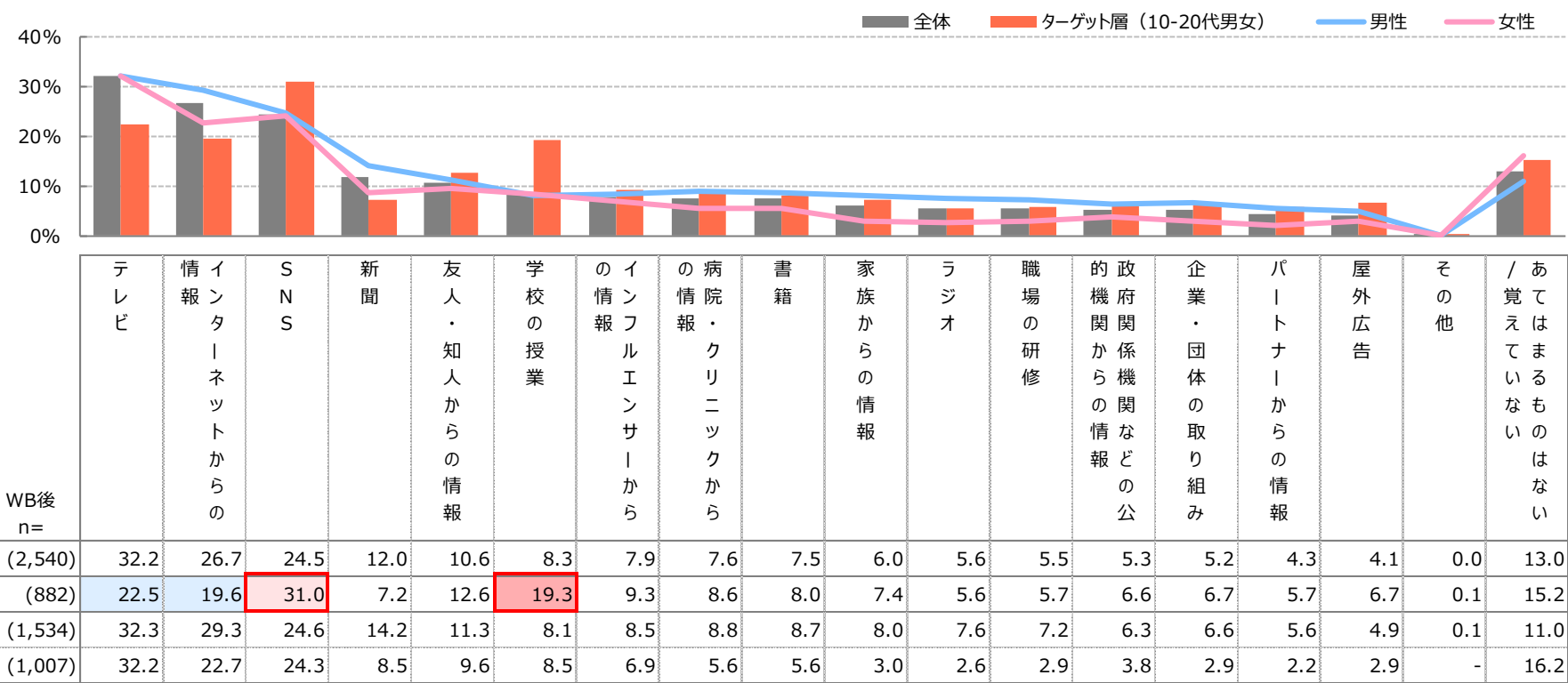
19

SRHR認知経路

- 認知経路は、「テレビ」が3割強、「インターネット情報」「SNS」と続く。
- ターゲット層では「SNS」が3割と最も高い。「学校の授業」が2割と、全体層より高い点の特徴。

Q3:あなたは、SRHR（性と生殖に関する健康と権利）という言葉をごどこで見聞きましたか。

※SRHR認知者ベース



※全体スコアで降順ソート

n=30以上の場合
[比率の差]
全体+10% イト
全体+5% イト
全体-5% イト
全体-10% イト

SRHR認知経路（性年代別）

- 性年代でみると、男女15-19歳は「学校の授業」が最も高く、次に「SNS」などが続く。20代は「SNS」が最も高く、「テレビ」などが続いている。
- 男女ともに、30代以上は全体の傾向と同様で「テレビ」「インターネット情報」が上位。また、「新聞」のスコアも若年層に比べ高い。
- 「家族からの情報」は、10代でも1割を切る。

Q3:あなたは、SRHR（性と生殖に関する健康と権利）という言葉をどこで見聞きましたか。

※SRHR認知者ベース

n=30以上の場合

1位

2位

3位

4位

5位

		WB前 n=	WB後 n=	テレビ	インターネット情報	SNS	新聞	友人・知人からの情報	学校の授業	インターネット情報	病院・クリニック	書籍	家族からの情報	ラジオ	職場の研修	情報公開機関など	政府関係機関など	企業・団体の取り組み	パートナーからの情報	屋外広告	その他	いない/覚えていない	あてはまるものは
性年代	男性15～19歳	(443)	(186)	22.3	19.2	26.6	8.2	18.6	32.9	8.5	6.7	6.1	9.5	4.8	4.4	7.6	6.7	7.9	6.8	0.4	12.1		
	男性20代	(470)	(345)	25.5	23.1	31.7	8.9	13.5	12.1	10.0	11.0	11.8	10.8	9.6	8.6	10.0	9.4	8.1	9.1	-	13.7		
	男性30代	(280)	(322)	34.8	32.6	30.8	13.6	10.0	4.1	10.8	9.4	9.1	7.0	7.2	6.1	5.6	6.3	4.7	3.9	-	10.7		
	男性40代	(246)	(365)	34.1	31.0	20.1	15.5	9.4	2.1	9.9	10.4	8.6	7.9	8.1	9.7	4.8	5.8	5.1	2.9	-	10.2		
	男性50代	(161)	(217)	41.5	36.6	15.0	23.5	8.7	0.6	2.7	5.8	4.4	4.5	5.6	6.3	4.5	4.9	3.0	3.4	-	7.9		
	男性60～64歳	(84)	(100)	39.0	36.8	13.6	20.7	6.6	-	3.6	4.5	10.5	6.6	10.0	4.0	2.1	4.7	3.6	1.1	-	9.5		
	女性15～19歳	(321)	(128)	21.4	14.0	32.0	3.2	10.1	33.9	7.0	5.1	3.7	3.5	1.5	1.1	1.8	2.5	2.2	3.6	-	15.6		
	女性20代	(321)	(224)	18.5	17.7	32.8	5.8	7.6	10.7	10.1	8.5	6.2	2.5	2.4	4.9	3.2	4.9	2.2	4.8	-	19.8		
	女性30代	(186)	(206)	33.8	22.0	33.0	8.9	13.6	3.1	10.5	6.8	6.9	6.1	5.0	3.5	5.7	3.3	4.9	4.1	-	13.5		
	女性40代	(131)	(192)	30.0	26.6	14.2	5.1	9.9	3.1	3.0	3.5	4.0	3.2	2.0	2.1	2.2	1.5	1.5	1.5	-	20.2		
	女性50代	(138)	(188)	49.2	29.9	12.9	15.0	8.0	2.3	3.1	2.8	6.4	-	2.7	2.2	4.4	2.2	0.8	0.8	-	12.7		
	女性60～64歳	(58)	(70)	50.8	26.8	15.9	17.6	6.6	2.7	6.2	6.9	6.0	1.6	-	1.6	6.9	2.1	-	2.1	-	11.4		

※全体スコアで降順ソート

SRHRの重要意識

補足：重要度・尊重度HMLの判定方法

SRHRに関する13の項目を一因子構造のSRHR尺度として総和して扱う（探索的因子分析を実施）。

5SDの回答それぞれに点数を付与し、その平均点でHMLを判定。

SRHRに関する13項目

1	自分のからだは自分のものとして、プライバシーや自分の要望が尊重されること	▼
2	生まれた時の性別に関係なく、どのような性を生きるか・どのような性を表現するかを自分の意思で自由に決められること	▼
3	ジェンダーに基づく暴力や強制がないこと	▼
4	（したくない行為を強要されないなど）安全で喜びのある性経験をもつこと	▼
5	性的な行為をするか、しないかを、自分の意思で自由に決められること	▼
6	性的な行為をする相手を自分の意思で自由に選べること	▼
7	（いつ、誰と）結婚するか、しないかを、自分の意志で自由に決められること	▼
8	（いつ、どのような方法で、何人の）子どもを持つか、持たないかを、自分の意思で自由に決められること	▼
9	（いつ、誰と、どのような）恋愛をするか、しないかを、自分の意志で自由に決められること	▼
10	（どのような手段で）避妊するか、しないかを自分の意思で自由に決められること	▼
11	妊娠・出産・産後、不妊治療、人工妊娠中絶などの必要な医療やケアにアクセスできること	▼
12	性感染症や生殖器のがんなどに対する必要な医療やケアにアクセスできること	▼
13	性と生殖の健康に関する正しい情報にアクセスできること	▲

HML判定方法

【H-L層の分類方法】

H層：平均点**4.5以上**（ほとんどの項目で「とても・やや大切/尊重」）

M層：平均点**4.5未満&3.0より高い**

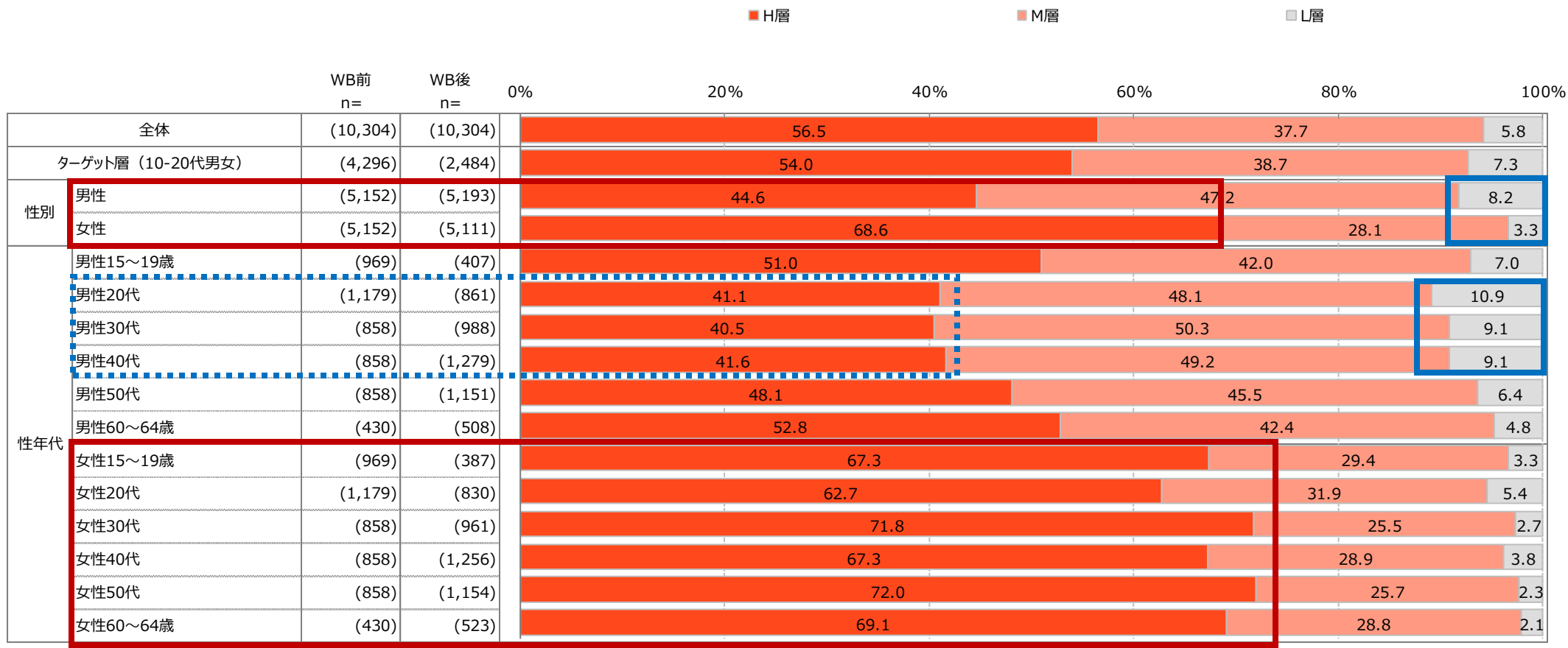
L層：平均点**3.0以下**（「どちらともいえない」以下）

重要意識5SD	尊重実感意識5SD	点数付与
とても大切だと思う	とても尊重されている	5点
やや大切だと思う	やや尊重されている	4点
どちらともいえない	どちらともいえない	3点
あまり大切だと思わない	あまり尊重されていない	2点
まったく大切だと思わない	まったく尊重されていない	1点

SRHR重要度構成

- 重要度H層は半数以上を超え、H + M層合わせると9割半。ターゲット層は全体構成と同様。
- 男性より女性でH層比率が高く、L層比率が低い。
- 男性は20-40代が4割前後と、属性間で低い傾向。女性で年代差はなく、いずれの年代もH層は6-7割。

Q4: 下記の事柄について、あなたはどの程度大切だと思いますか。



- 全体層で、ほとんどの項目がTOP2で8割前後。「結婚の自由」「妊娠・出産等の医療ケアアクセス」「恋愛の自由」が続く。
- ターゲット層もほとんどの項目がTOP2で8割前後。「子供を持つ・持たない自由」「妊娠・出産等の医療ケアアクセス」「恋愛の自由」が続く。
- 全ての項目で、女性の方が男性より反応率が高い。男女で差分が大きいのは「どのような性を生きるか・表現するかの自由」「ジェンダーに基づく暴力や強制がないこと」「避妊に関する決定権」

	決めない（いつ、誰と）の結婚する自由に	や人工妊娠・出産・産後、必要な医療、	の愛をするか、誰と、どのよう（な）恋	めいかを、子どものよう（な）方法で、何	れる、性的な行為をするか、しなめいか	が、自分のからだは自分のものと望	セスできる必要（な）医療やケ（ア）にク	性感染症や生殖器のケ（ア）にク	験（など）安全で喜びの強（さ）ある性（性）	由（どのよう（な）手段で）避妊する	情（性）と生殖の健康に関する正しい	性的な行為をする相手（を）自分の	がない（な）こと	意（よ）うな（な）性（性）を（を）決（め）ら（れ）る（こ）と（の）	生（ま）れた（な）性（性）別（別）に（に）関（関）係（係）な（な）く（く）、
VB後 n=	10,304)	86.5	86.2	86.1	85.9	85.7	85.6	84.7	84.5	84.2	83.5	83.3	80.7	77.2	77.2
(2,484)	83.9	85.1	84.2	85.6	83.0	82.3	82.1	81.6	82.1	82.6	81.5	78.4	80.0	80.0	80.0
(5,193)	81.5	81.4	81.3	80.9	80.1	80.0	79.6	79.1	78.2	78.3	77.4	74.1	69.5	69.5	69.5
(5,111)	91.6	91.0	91.0	90.9	91.3	91.2	89.9	89.9	90.3	88.9	89.2	87.4	85.0	85.0	85.0

25

重要度の高いSRHR：TOP2（性年代別）

- 男女ともにほとんどの年代で、「恋愛・結婚・子の有無の自由」や「妊娠等での医療ケアアクセス」が上位5番内に入る。
- 「からだのプライバシー権」については、男女ともに10代と、50-60代が重視している傾向が窺える。
- 「性的な行為の決定権」は、男性20-40代で4,5番目に入る反応率だが、女性30-50代では反応率1番と、性年代での傾向の違いが明らかに。

Q4: 下記の事柄について、あなたはどの程度大切だと思いますか。

				決な（い めいら かつ、 れを、 誰と分 の結 意婚 志す るか 自由、 にし	や人妊 ケ工娠 ア妊・ に娠出 ア中産 ク絶・ セな産 スど後 で必不 る要妊 こな治 と医療 療、	の愛（い 意をす 志する 自か誰 由、と にし、 決ない めいか よる、 な） 自分恋	めい人（い らかのい れを）つ る、子、 こ自どの と分もの のをよ 意持う でるか 自、法 由持で にた、 決な何	れを性 る、的 こ自な と分 の為 意を 思す でるか 自由、 にし 決ない めいら か	がて自 尊、分 重プの さうら かれ バだ こシは とー自 や分 自の 分もの の要 と望し	セ対性 ス感 で染 必症 要や こな生 と医殖 療器 やの ケが アん にな アど クに	験い（し ななど） もた、 つく、 こ安 と全 で行 喜為 びの 強あ 要さ 性れ 経な	由か（ど に、の 決しな めら い れか な る手 こ自 と分 で） 意避 思妊 です 自る	情性 報と に生 ア殖 クの セ健 ス康 でに 関す るこ と正 しい	意性 思的 でな 自 由 為 に を 選 す る 相 手 を 自 分 の	がジ ない エン ダ ー に 基 づく 暴 力 や 強 制	意よど生 思うのま でなよた 自性う 由をな に表性 の現性 決る生 めす別 るか るを か 自分 どの の、
WB前 n=				n=												
性年代	男性15～19歳	(969)	(407)	83.8	83.4	83.9	85.0	81.9	83.2	81.8	81.7	83.0	82.6	79.0	77.4	79.0
	男性20代	(1,179)	(861)	76.5	78.7	78.6	79.9	76.6	74.2	74.7	74.5	74.5	75.6	76.2	69.9	72.7
	男性30代	(858)	(988)	78.3	80.7	79.0	79.6	78.8	76.6	77.0	77.8	77.7	76.6	75.2	72.0	69.7
	男性40代	(858)	(1,279)	81.0	81.2	78.9	80.5	79.8	79.7	80.2	77.6	77.3	78.1	76.5	74.0	68.2
	男性50代	(858)	(1,151)	84.3	82.1	83.8	81.0	81.7	84.5	82.1	82.0	78.2	78.4	79.8	76.7	65.8
	男性60～64歳	(430)	(508)	88.8	85.0	88.2	83.0	84.0	84.8	84.6	84.6	84.3	83.2	79.5	77.5	67.4
	女性15～19歳	(969)	(387)	88.9	92.1	88.9	90.8	89.5	90.4	89.6	88.1	88.9	90.3	87.7	86.7	87.1
	女性20代	(1,179)	(830)	89.4	89.3	87.9	89.4	87.1	86.5	86.5	86.0	86.4	86.2	85.2	83.7	84.9
	女性30代	(858)	(961)	92.2	92.3	92.1	91.5	92.8	91.2	90.4	91.2	90.6	90.0	89.3	89.0	86.0
	女性40代	(858)	(1,256)	90.0	89.5	89.9	90.1	90.3	90.3	89.4	89.2	89.1	88.1	89.0	84.9	84.3
	女性50代	(858)	(1,154)	94.1	91.6	93.3	92.3	94.2	94.1	91.5	92.4	92.6	88.7	91.6	90.3	85.3
	女性60～64歳	(430)	(523)	93.8	93.2	93.2	91.3	92.5	94.5	92.4	91.5	94.4	92.2	91.8	91.0	82.6

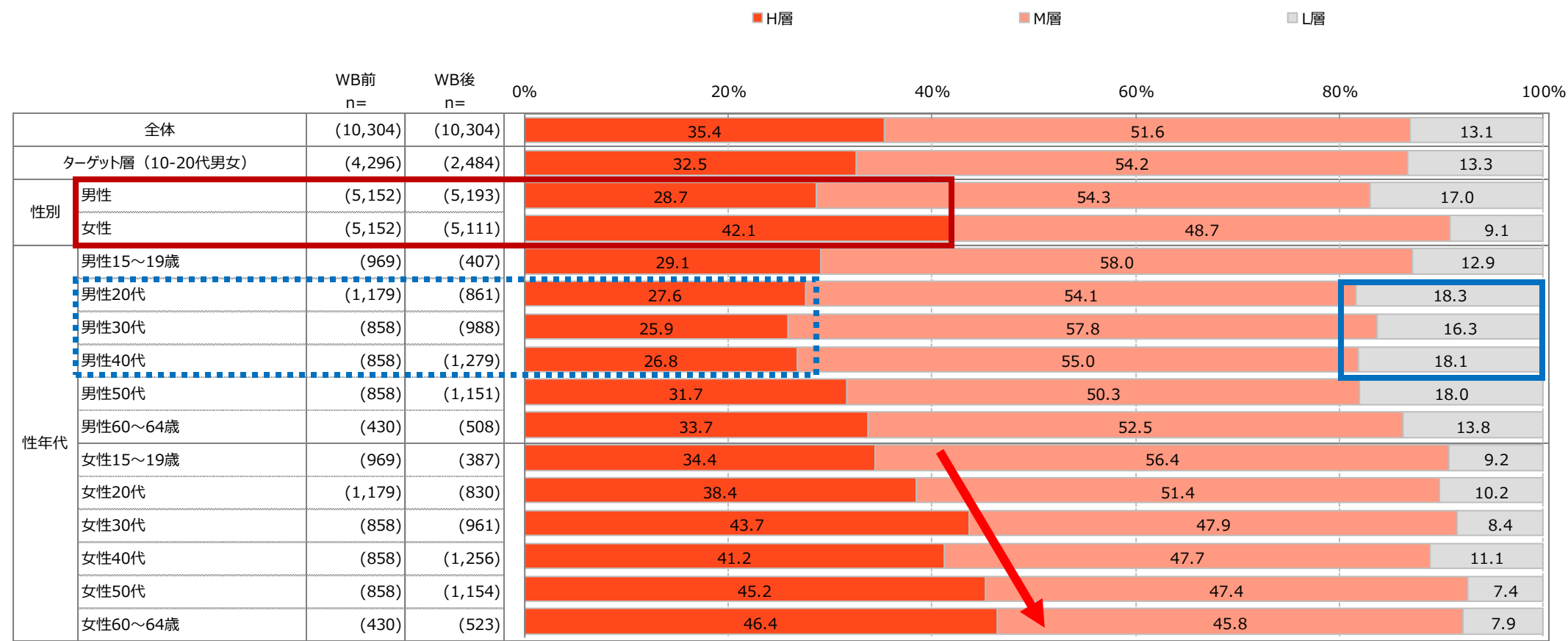
※全体TOP2スコアで降順ソート

SRHRの尊重実感意識

SRHR尊重度構成

- 尊重度H層は3割半、H + M層合わせると8割半。ターゲット層は全体構成と同様。
- 重要度同様に、男性より女性でH層比率が高い。
- 女性H層は高年層ほど比率が高い。男性は20-40代でH層が25%前後と低い上、L層の比率も属性間で高い。

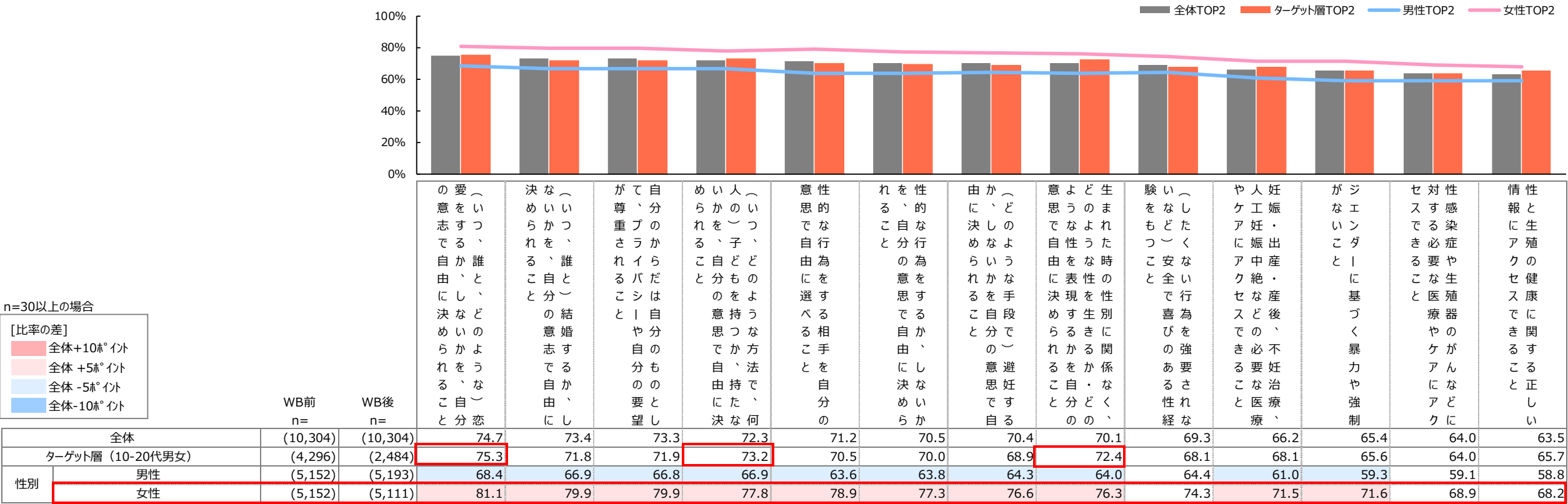
Q5: 下記の事柄は、あなたの普段の生活でどの程度尊重されていますか。



尊重度の高いSRHR：TOP2

- 全体層ではほとんどの項目がTOP2で6-7割の尊重度。「恋愛の自由」「結婚の自由」「体のプライバシー権」が続く。
- ターゲット層は全体と同傾向。「恋愛の自由」「子供を持つ・持たない自由」「どのような性を表現するか」が続く。
- 重要度と同様に、全ての項目で、女性の方が男性より反応率が高い。

Q5: 下記の事柄は、あなたの普段の生活でどの程度尊重されていますか。



※全体TOP2スコアで降順ソート

尊重度の高いSRHR：TOP2（性年代別）

- 性年代問わず「恋愛・結婚の自由」「からだのプライバシー権」は尊重されている実感が高い。
- 「子の有無の自由」については、男性10-30代で1,2番目の反応率だが、女性では4,5番目にとどまる。
- 「性的な行為をする相手を選ぶ自由」については、女性で上位5番内にあがるものの、男性では上位5番内に入らず、傾向に違いが。“自由”の解釈の違いが要因か。
- 「どのような性で生きる・表現するか」については、男女ともに若年層が5番内にあげる一方、上の年代層では上位5番内に入らず。

Q5: 下記の事柄は、あなたの普段の生活でどの程度尊重されていますか。

n=30以上の場合

1位

2位

3位

4位

5位

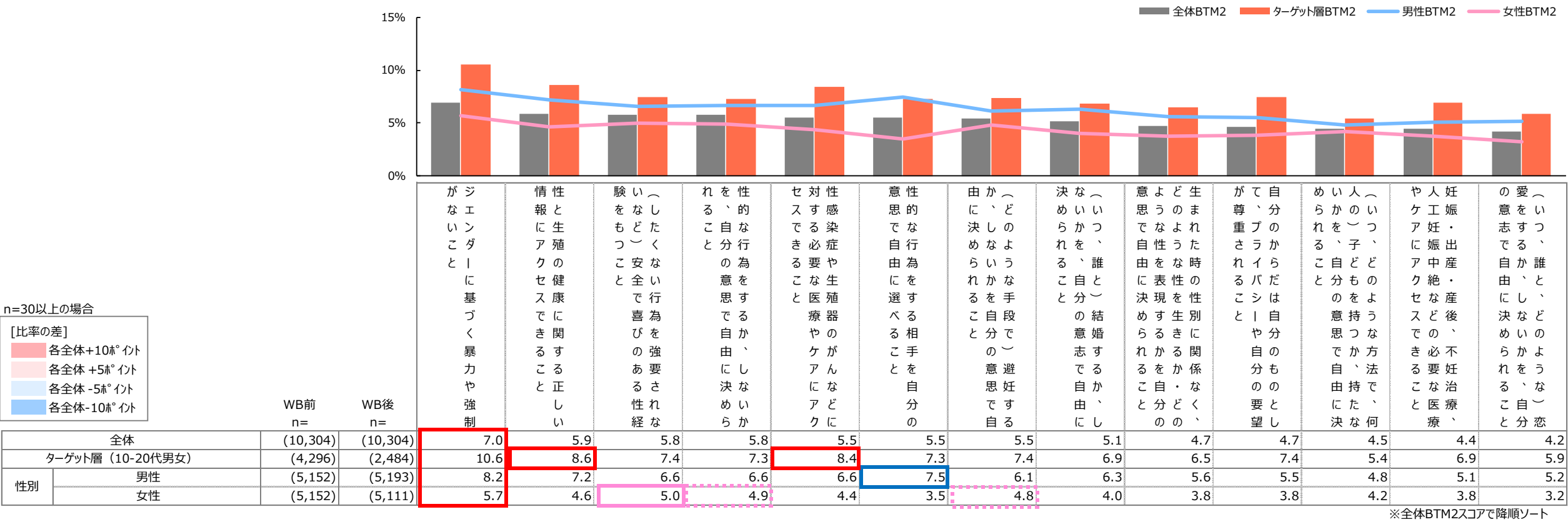
		WB前 n=	n=	の愛（ 意をい 志すつ でる、 自か誰 由、と 決など めいの らかよ れをう る、な こ自 と分恋	決な（ めい らかつ れを、 誰 こ自 と の結 意婚 志す でる 自か 由、 にし	がて自 尊、分 重ブの さうか れイら るバだ こしは とー自 や分 自の もの の要 と望し	めい人（ らかのい れを、つ こ自ど と分もの をよ 意持う 思つか でか方 自、法 由持で にた、 決な何	意性 思的 でな 自行 由為 にを 選す べる 相 手 と を 自 分 の	れを性 、的 こ自 と分 の 為 意 す で る 自 か 由、 にし 決 な め い ら か	由か（ に、ど 決し めな ら い う れ か な 手 段 で の 意 避 妊 で す 自 る	意よど生 思のま でなよ 自性う 由をな に表性 決現を めす生 るき れか る を か こ 自 と 分 ど の の、	験い（ なした もど） つく こ安 全 い で 行 為 の 強 あ る さ 性 れ 経 な	や人妊 ケ工娠 ア妊・ に娠 ア中 ク産 セな ス後 での、 必不 要妊 こな と医 療、	がジ ない エン ター に 基 づ く 暴 力 や 強 制	セ対性 スす感 でる必 でき症 る要 こな と医 療 器 の ケ が ア ん に な ど ク に	情性 報と に生 ア殖 クの セ健 ス康 で 可 能 な こ と 正 し い
性年代	男性15～19歳	(969)	(407)	73.5	71.3	71.4	71.7	66.4	67.0	66.8	70.1	67.2	66.8	64.5	66.2	68.8
	男性20代	(1,179)	(861)	68.5	65.2	64.0	68.9	63.5	65.1	63.4	67.5	63.5	65.2	59.1	59.3	59.6
	男性30代	(858)	(988)	67.7	65.9	66.9	67.9	63.3	63.3	63.1	63.9	63.3	61.6	57.4	59.1	57.1
	男性40代	(858)	(1,279)	67.5	65.2	66.1	64.6	62.7	62.3	62.9	62.9	64.3	60.7	58.4	58.3	58.1
	男性50代	(858)	(1,151)	67.5	67.9	66.2	64.9	62.7	62.4	64.9	60.8	64.8	56.7	58.9	56.8	56.2
	男性60～64歳	(430)	(508)	70.3	70.0	70.8	67.9	66.7	66.7	68.3	63.1	65.8	59.0	62.6	60.5	60.5
	女性15～19歳	(969)	(387)	80.1	76.7	78.6	75.9	72.7	72.8	70.6	75.0	67.9	68.3	71.0	65.3	70.0
	女性20代	(1,179)	(830)	81.1	76.7	77.4	77.2	78.8	75.1	74.9	77.5	73.3	71.6	70.4	67.4	68.6
	女性30代	(858)	(961)	81.3	80.2	80.1	79.4	79.8	78.8	79.7	77.9	77.2	74.4	74.9	69.8	70.7
	女性40代	(858)	(1,256)	79.4	79.3	77.8	77.6	77.4	75.7	75.0	75.2	72.2	69.0	69.9	67.3	65.7
	女性50代	(858)	(1,154)	82.4	82.9	83.1	78.7	80.5	80.5	79.1	75.5	75.7	73.8	71.2	72.1	69.3
	女性60～64歳	(430)	(523)	82.1	81.9	82.9	75.8	81.8	77.9	76.3	77.1	76.9	69.2	73.6	69.7	65.2

※全体TOP2スコアで降順ソート

尊重度の低いSRHR：BTM2

- 全体、ターゲット層、男女ともに最も尊重されていないのは「ジェンダーに基づく暴力や強制がない」。
- 全体に比べ、ターゲット層でBTM2スコアがやや高い。「ジェンダーに基づく暴力や強制がない」に次いで「正しい情報へのアクセス」「性感染症や生殖器がんに必要な医療やケアへのアクセス」のBTM2スコアが大きい。
- 「ジェンダーに基づく暴力や強制がない」に次いでBTM2が高いのは、男性で「性行為の相手を選ぶ自由」、女性で二番目にBTM2が高いのは「安全で喜びある性経験を持つこと」

Q5: 下記の事柄は、あなたの普段の生活でどの程度尊重されていますか。

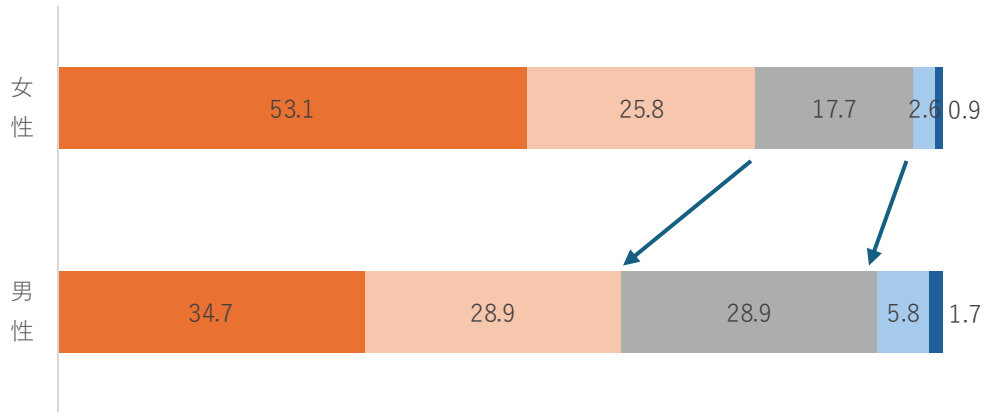


補足_男女のBTM2Topの項目分析

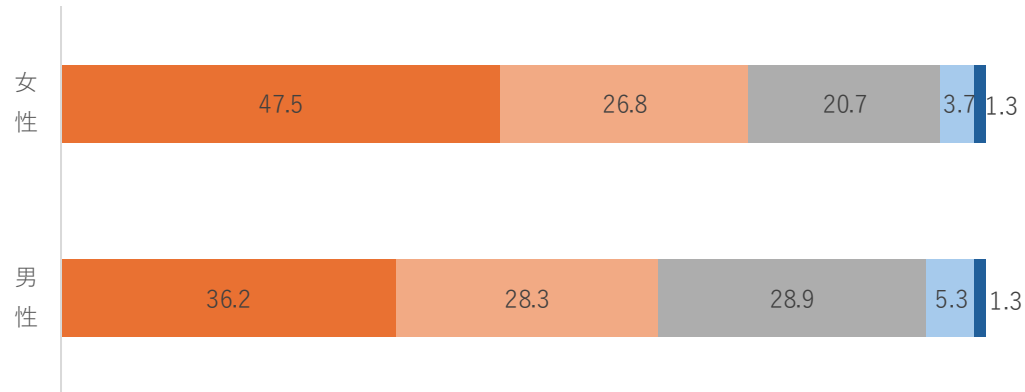
- 男性の中で、尊重されていない実感（BTM2）が最も高いのは「性の相手を選ぶ自由」。この項目は、尊重されている実感（TOP2）の比率も女性より低い。
→男性でより尊重されていないと感じる人が多く、男女間で尊重実感にギャップが生まれている。
- 女性の中で、尊重されていない実感（BTM2）が最も高いのは「安全で喜びある性経験を持つこと」。一方、尊重されている実感（TOP2）は男性よりも高い。
男性でも、この項目は尊重されていない人（BTM2）が女性と同程度以上出現し、かつ尊重されている人（TOP2）は女性よりも少ない。
→男女ともに課題がある模様。

Q5: 下記の事柄は、あなたの普段の生活でどの程度尊重されていますか。

性的な行為をする相手を自分の意思で自由に選べること



(したくない行為を強要されないなど) 安全で喜びのある性経験をもつこと



尊重度の低いSRHR：BTM2（性年代別）

- 男女年代問わず、「ジェンダーに基づく暴力や強制がない」の非尊重スコア（BTM2）が高い。
- 男性の方が女性より、「性的な行為の相手を選ぶ自由」を尊重されていないと感じている人が多い。

Q5: 下記の事柄は、あなたの普段の生活でどの程度尊重されていますか。

				ジェンダーに基づく暴力や強制	性と生殖の健康に関する正しい情報	（いたく安全でない行為の強要）性交渉を促すこと	性的行為の自由、しめい	性感染症や生殖器のケアなど	性的自由、自分の意思で行為を選択する権利	（どのような手段でも）避妊する自由	（いつ、誰と）結婚する自由	生まれた時の性別に関係なく、自分の性を表現する権利	自分のアイデンティティや自分の望む生活スタイルを尊重されること	（いつ、どのような方法で、何らかの子どもを持つ自由）	人権、性的少数者の権利	妊娠・出産、中絶、産後、必要な治療、人工妊娠	（いつ、誰と）恋愛、結婚、パートナーシップ、子どもを育てる自由
n=30以上の場合																	
		WB前 n=	n=														
性年代	男性15～19歳	(969)	(407)	10.2	8.3	6.6	7.6	6.9	6.9	8.6	5.9	7.0	8.1	4.9	5.5	5.0	
	男性20代	(1,179)	(861)	12.5	10.6	9.3	9.2	10.7	10.1	8.2	8.9	7.7	9.0	6.5	8.5	8.2	
	男性30代	(858)	(988)	9.4	7.7	8.2	6.9	7.6	8.7	6.7	7.1	4.8	5.8	5.3	5.0	6.0	
	男性40代	(858)	(1,279)	7.7	6.7	6.8	6.8	5.8	6.9	6.8	6.9	5.5	4.7	5.2	4.4	5.6	
	男性50代	(858)	(1,151)	5.0	5.4	3.8	4.9	4.5	5.4	3.2	4.1	4.7	3.4	3.4	3.8	2.9	
	男性60～64歳	(430)	(508)	5.5	5.0	5.0	4.7	4.7	7.4	4.3	3.8	4.9	3.6	3.3	3.7	2.7	
	女性15～19歳	(969)	(387)	9.2	7.9	6.2	4.5	7.4	5.5	5.3	5.1	6.8	4.8	4.9	6.1	4.6	
	女性20代	(1,179)	(830)	9.4	7.1	6.6	6.6	7.3	5.4	7.0	6.0	4.8	6.6	4.7	6.2	4.4	
	女性30代	(858)	(961)	5.6	4.7	4.8	5.3	4.5	3.5	4.4	4.7	3.9	4.1	5.2	3.4	3.8	
	女性40代	(858)	(1,256)	5.4	3.4	5.8	6.1	3.4	3.4	4.6	3.8	2.4	3.3	4.4	3.4	3.3	
	女性50代	(858)	(1,154)	2.9	3.3	4.1	3.6	2.8	2.6	4.0	2.1	3.7	2.7	2.9	2.4	1.7	
	女性60～64歳	(430)	(523)	4.3	3.8	2.0	1.4	3.4	1.0	4.0	3.2	3.2	1.9	3.3	2.9	2.2	

※全体BTM2スコアで降順ソート

SRHRが尊重されていないと思う理由

- 最も尊重されていないSRHRの「ジェンダーに基づく暴力や強制がない」では、世代を問わず、男性/女性はこうだという押しつけを感じるという意見が多かった。また、ニュースや報道などで耳にすることも理由として挙がっている。女性であるために性被害にあう、社会的立場が弱いなどの意見も見られる。
- 若年層では学校や家庭での体験、中高年では職場における差別が頻出し、人生段階ごとの課題が浮かび上がる。

Q7:あなたは、普段の生活で【Q6の選択内容】が尊重されていないと回答されました。そのように感じられた理由について、具体的なエピソードや体験談を交えて、できるだけ詳しくお知らせください。

全体層	ターゲット層
ジェンダーに基づく暴力や強制がないこと 男性的な役割を求められること (男性/30代) 職場で男女差別がいまだにある (男性/30代) ニュースで性的暴行の話題を取り上げられており、目にする機会が多いから。 お酒の無理やり飲ませたり、当事者間の「同意を得た」、「得ていない」の両者の食の違いがある(男性/30代) 男なんだから男らしくしなさいとか、女みたいとか、おかま呼ばわりとか、言葉の暴力は日常茶飯事くらいで行われていた。 (男性/50代) 女性であることだけで、社会的に不利な扱いをされたり、女のくせにと舐められたり、女性をターゲットにした性的な眼差しにさらされる。(女性/30代) 女だからという理由だけで職場での評価が低くされている(女性/40代) 社会で仕事をする上で性別での差別が甚だしい。金銭面、仕事内容など(女性/50代) 妻より夫のほうが偉いと結婚相手は思っているだろうと常づね感じていた(女性/50代)	ジェンダーに基づく暴力や強制がないこと 「男なのに」だったり「女なのに」という言葉を家族がよく使っているから (男性/15-19才) 性差別をしている人が学校内にいる (男性/15-19才) 子供の頃、男の子だからと言われてやりたくもない習い事を強制された (男性/20代) 男らしさや甲斐性のようなものを求められる。女性に比べて声をあげることも聞かれることも少なく、男女ともに男性像のアップデートはほとんどされていない。 (男性/20代) 学校でも男子だからや女子だからと日本の中でまだ区別されている部分が多いとかんじたから。(女性/15-19才) 親戚の集まりなどで、女性だけが裏方で働く文化がある。女性だからという理由だけで働かないことが許されないことがたびたびある。(女性/20代) 盗撮、電車での痴漢が放置されている。就職や職場での女性差別 就活での悩みを男性に話したら、永久就職(結婚)しなきゃいいじゃん！と性差別的なことを言われた(女性/20代) テレビなどで日本はまだジェンダーに遅れていると言われているため (男性/20代)

SRHRが尊重されていないと思う理由

- 「性と生殖の健康に関する情報アクセス」では、タブー視されている、有害サイトが多い、情報が溢れて何が正しいか分からないなどの意見が多く挙がった。
- 若年層では、やましいこととして扱われていまい、セキュリティロックで正しい情報にもアクセスできないなど、文化的・技術的障壁が明らかに。

Q7:あなたは、普段の生活で【Q6の選択内容】が尊重されていないと回答されました。そのように感じられた理由について、具体的なエピソードや体験談を交えて、できるだけ詳しくお知らせください。

全体層

性と生殖の健康に関する正しい情報にアクセスできること

快楽としての性の側面ばかりで、具体的な生殖に繋がる建設的な情報へのアクセスの機会が少ない。見たくもないのに性的な広告が出てきて性への不快感すら覚える（男性/30代）

性的な話題や情報を見聞きしたり話したりすることがタブーとなっている風潮を感じる。その結果、性や生殖に関する正しい情報が何なのかを理解することなく大人になってしまったように思える（男性/30代）

特にSNSをはじめとするインターネット上には興味本位の記事が多く、誤った内容であっても信じ込んでしまいそうな状況であるから（男性/50代）

報道番組等で、「スマホやパソコンで性の情報を手軽に調べることが出来るぶん、果たしてその情報が本当に信頼出来るのか...」という内容の特集をよく見るから。ネットの中の莫大な情報の中から、正しいかどうかを自分で見極めるのは困難だと思った（女性/30代）

正しいものが何なのか正確にわかっているかと言われるとわかっていないような気がするから（女性/40代）

情報が氾濫していて有害なものも多く含まれているから（女性/40代）

ネットの情報はどこまで信用できるか分からないから（女性/50代）

ターゲット層

性と生殖の健康に関する正しい情報にアクセスできること

性や生殖などを、やましいこととする世の中であるため、正しい情報を見かけることが少ないと感じるから（男性/15-19才）

性に関する情報を検索していると下心なしで真剣に調べていたとしても下心があると思われるから（男性/15-19才）

学校でコンドームや生理などの性に関する詳しい情報について教えてもらっていない。性に関する誤った情報がネットに出回ってしまっている（男性/15-19才）

性などに関する情報はどちらかというと有害なサイトが多いと思うため（男性/20代）

未成年なので保護者から検索サービスのフィルタリングがかけられていて性にまつわるものにアクセスしづらい（女性/15-19才）

ネットで偏った情報に惑わされそうになるから。正しい情報にアクセスできる機関・サイトを知らない（女性/15-19才）

インターネットのセキュリティモードがあったり、誤情報がありふれてあり、どれが正しいのかわからないから（女性/15-19才）

ネット上で情報が錯誤しており、何が正しい情報なのかが分からないから（女性/20代）

SRHRが尊重されていないと思う理由

- 「性行為の自由」については、パートナーに合わせて自分の意思を優先できていないからという意見が多くあがった。
- 「ジェンダー・性表現の自由」は「ジェンダーに基づく暴力や強制がない」に似た理由が多く、男性/女性らしさの押し付けが主な意見であった。また、社会システムが整っていないなどの意見も見られた。

Q7:あなたは、普段の生活で【Q6の選択内容】が尊重されていないと回答されました。そのように感じられた理由について、具体的なエピソードや体験談を交えて、できるだけ詳しくお知らせください。

全体層

性的な行為をするか、しないかを、自分の意思で自由に決められること

強姦事件などがいまでもたくさんあるから
(男性/20代)

そういう気分じゃないときに彼女がセックスを
求めてきたとき (男性/40代)

性的な行為をするというのは相手があつてのことなので、自分の意思だけでは決められないところが大いと思う。
結婚してるので、旦那と体の具合や私の体調やお互いの気持ちなど合致した時点でないとできないので、自由ではないと感じている (女性/20代)

正直そういう気分じゃないときも、恋人に触られると行為をしないとイケない雰囲気になってしまう (女性/15-19才)

むりやり押し倒されたことがあった
(女性/15-19才)

拒否したら暫くねちねち文句を言われたり嫌がらせをされる。女性に拒否権はない模様 (女性/40代)

疲れていても、強要される。夫婦だからいいと思っている感じだ (女性/50代)

全体層

生まれた時の性別に関係なく、どのような性を生きるか・
どのような性を表現するかを自分の意思で自由に決められること

産まれた性で生きることをなんとなく強制しているような雰囲気やそういった弄りが行われている (男性/15-19才)

男らしく、女らしくという言葉は、昔よりかは使われる回数は減っているように感じるが、男ならがんばれとか、女性らしい方がきれいだとか、周りが思う性認識に合わせないといけない (男性/30代)

自分は同性愛者ですが、やっぱり窮屈な部分が凄くあると感じます
(男性/40代)

男性だからこうあるべき、というしがらみが今でも多い。先入観で決めつけられていると感じることもある (男性/40代)

就職するときや、受験をするときなど特にフォーマルな場面では男女どちらかの生物学的な性を適用しなければならない
(女性/15-19才)

親から「女の子なんだから」と、大学進学前には高卒で花嫁修行・結婚を勧められ、また、大学卒業前にはお見合い先を斡旋されるなど (女性/20代)

マイリティの人は潜在的にかなり多数いると思われている中で自分の周りにいない、という事はまだまだ隠して生きている人がいるのではないか (女性/50代)

トランスジェンダーや同性婚の理解がされていない。法整備されていない
(女性/60代)

SRHRが尊重されていないと思う理由

- ターゲット層で全対比の差分が大きい「からだのプライバシー権」では、「ジェンダーに基づく暴力や強制がない」に似た、男性/女性らしさの押し付けが主な理由。
- 男女それぞれで尊重度が低いSRHRでは、女性は自分の意思が伴わない性行為が多い、男性はパートナーから性行為を拒否されるといった声があがった。

Q7:あなたは、普段の生活で【Q6の選択内容】が尊重されていないと回答されました。そのように感じられた理由について、具体的なエピソードや体験談を交えて、できるだけ詳しくお知らせください。

ターゲット層

自分のからだは自分のものとして、 プライバシーや自分の要望が尊重されること

友達に学校でプライベートゾーン触られたりしたりします。それは自分の体なのでやめて欲しいかなと思います
(男性/15-19才)

家族の視線や発言から。**女の子なんだから、という言葉を使う人が周りにいる**ため
(女性/15-19才)

たとえば、家族、学校、職場などで「こうすべき」という暗黙のルールや価値観が強く押し付けられると、自分の体や選択について意見を言いづらくなります。
着る服や髪型、進学・就職・結婚に関する決定などで、本人の意思より周囲の期待が重視されると、自分の体の自由が奪われているように感じます
(女性/15-19才)

SNSなどで有名人やインフルエンサーなどの卑劣な切り抜き動画が出回っている。そしてその対処が警察でも難しい
(女性/20代)

性行為を気分的な理由で断ったら激怒されたことがある (女性/20代)

教えたくないことを親が他の人に言う
(女性/20代)

会社の上司に身体を触られるが他の社員からの信頼が厚いためセクハラを申告できない (女性/20代)

女性

安全で喜びのある性経験を持つこと

相手から自分の考えを受け入れられずに**強制的に性経験をさせられた**
(女性/15-19才)

女性は常日頃痴漢やレイプ事件の被害にあっており(男性にもあるだろうが圧倒的に女性の方が多い)**自分の望まない性経験を強要**させているから (女性/20代)

体調が悪かろうがこちらがどんな状態でも「俺のことが好きならできるだろう」と行為を強要されることが頻繁にあった。好き嫌いとは関係がないといくら説明しても聞き入れられず、**不機嫌になるので仕方なく**毎回苦痛と痛みに歯を食いしばりながら耐えていた。喜びなどは一度も感じたことはない。(女性/50代)

男性

性的な行為をする相手を自分の意思で自由に選べること

過去、友達がお酒を飲んだときに無理やりされたことがあったから (男性/20代)

レイプとかそんな事件が多いからです (男性/30代)

別に他の人になりたいわけではないが、**配偶者がしたくないというので、しない選択肢**しかないから。だからと言って無理にしたいわけではない。(男性/60代)

相手がいても、拒否されれば同様と思います (男性/60代)

※SRHRは「意志に反して性行為をされない権利」であることに留意したい。

重要意識と尊重実感のギャップ

【再掲】補足：重要度・尊重度HMLの判定方法

SRHRに関する13の項目を一因子構造のSRHR尺度として総和して扱う（探索的因子分析を実施）。

5SDの回答それぞれに点数を付与し、その平均点でHMLを判定。

SRHRに関する13項目

1	自分のからだは自分のものとして、プライバシーや自分の要望が尊重されること	▼
2	生まれた時の性別に関係なく、どのような性を生きるか・どのような性を表現するかを自分の意思で自由に決められること	▼
3	ジェンダーに基づく暴力や強制がないこと	▼
4	（したくない行為を強要されないなど）安全で喜びのある性経験をもつこと	▼
5	性的な行為をするか、しないかを、自分の意思で自由に決められること	▼
6	性的な行為をする相手を自分の意思で自由に選べること	▼
7	（いつ、誰と）結婚するか、しないかを、自分の意志で自由に決められること	▼
8	（いつ、どのような方法で、何人の）子どもを持つか、持たないかを、自分の意思で自由に決められること	▼
9	（いつ、誰と、どのような）恋愛をするか、しないかを、自分の意志で自由に決められること	▼
10	（どのような手段で）避妊するか、しないかを自分の意思で自由に決められること	▼
11	妊娠・出産・産後、不妊治療、人工妊娠中絶などの必要な医療やケアにアクセスできること	▼
12	性感染症や生殖器のがんなどに対する必要な医療やケアにアクセスできること	▼
13	性と生殖の健康に関する正しい情報にアクセスできること	▲

HML判定方法

【H-L層の分類方法】

H層：平均点**4.5以上**（ほとんどの項目で「とても・やや大切/尊重」）

M層：平均点**4.5未満&3.0より高い**

L層：平均点**3.0以下**（「どちらともいえない」以下）

重要意識5SD	尊重実感意識5SD	点数付与
とても大切だと思う	とても尊重されている	5点
やや大切だと思う	やや尊重されている	4点
どちらともいえない	どちらともいえない	3点
あまり大切だと思わない	あまり尊重されていない	2点
まったく大切だと思わない	まったく尊重されていない	1点

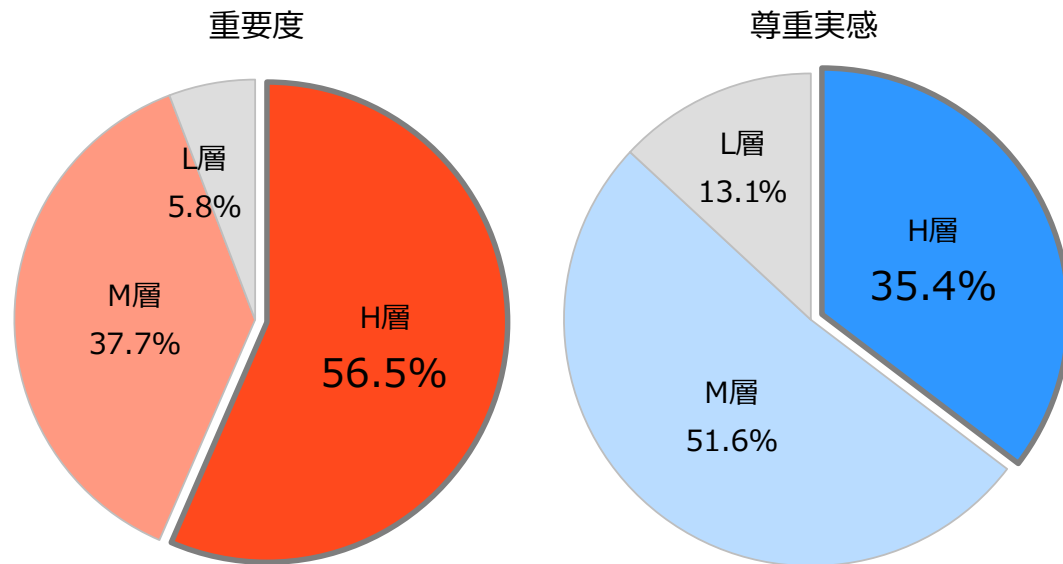
SRHRのギャップ（重要度構成 × 尊重度構成）

- 全体で、重要度H層は5割半、L層は1割にも満たないのに対し、尊重度H層は3割半、L層は1割強と、重要度と尊重度のギャップがみられる。
- ターゲット層も同様の傾向。

Q4: 下記の事柄について、あなたはどの程度大切だと思いますか。Q5: 下記の事柄は、あなたの普段の生活でどの程度尊重されていますか。

全体

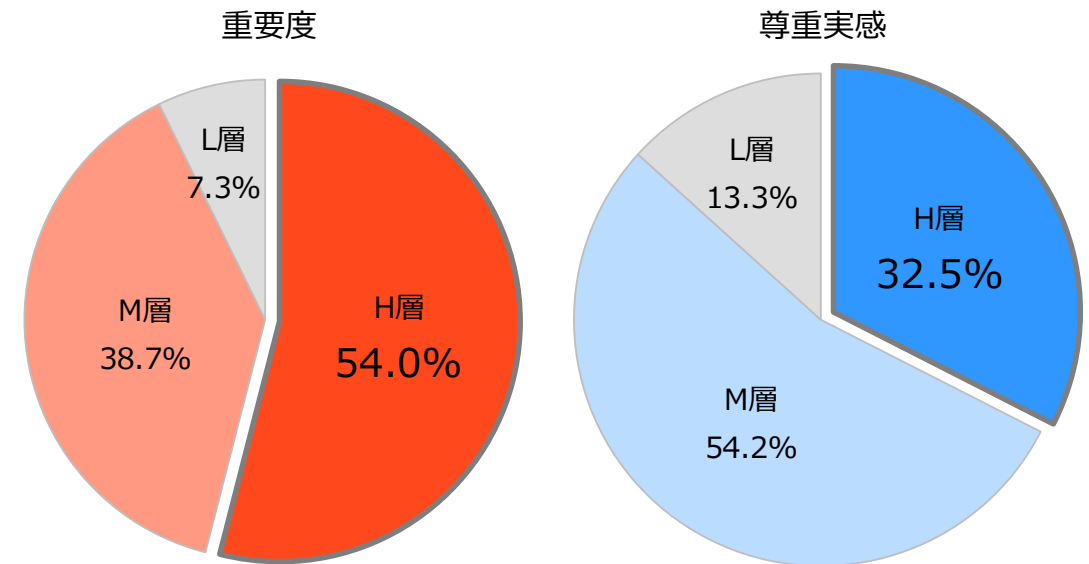
(WB前n=10304 WB後n=10304)



尊重度H層-重要度H層：-21.1pt

ターゲット層 (10-20代)

(WB前n=4296 WB後n=2484)



尊重度H層-重要度H層：-21.5pt

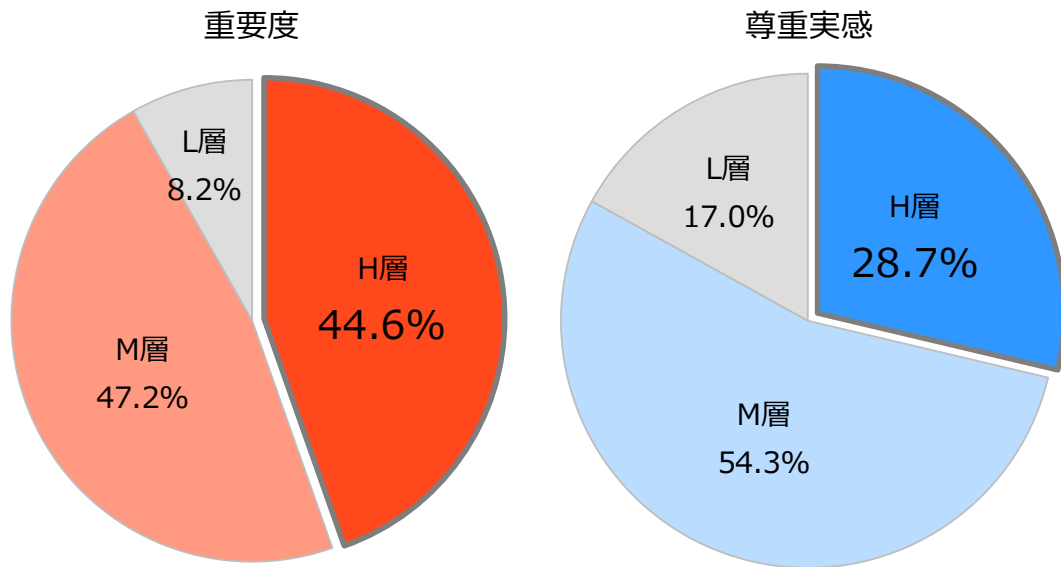
SRHRのギャップ（重要度構成 × 尊重度構成）_男女比較

- 男女ともに、重要度に対する尊重実感意識のギャップが生まれている。
- 女性は、重要意識が高いため尊重実感意識とのギャップも大きくなっている。
- 男性は、重要意識・尊重実感ともに女性よりも低い。

Q4: 下記の事柄について、あなたはどの程度大切だと思いますか。Q5: 下記の事柄は、あなたの普段の生活でどの程度尊重されていますか。

男性

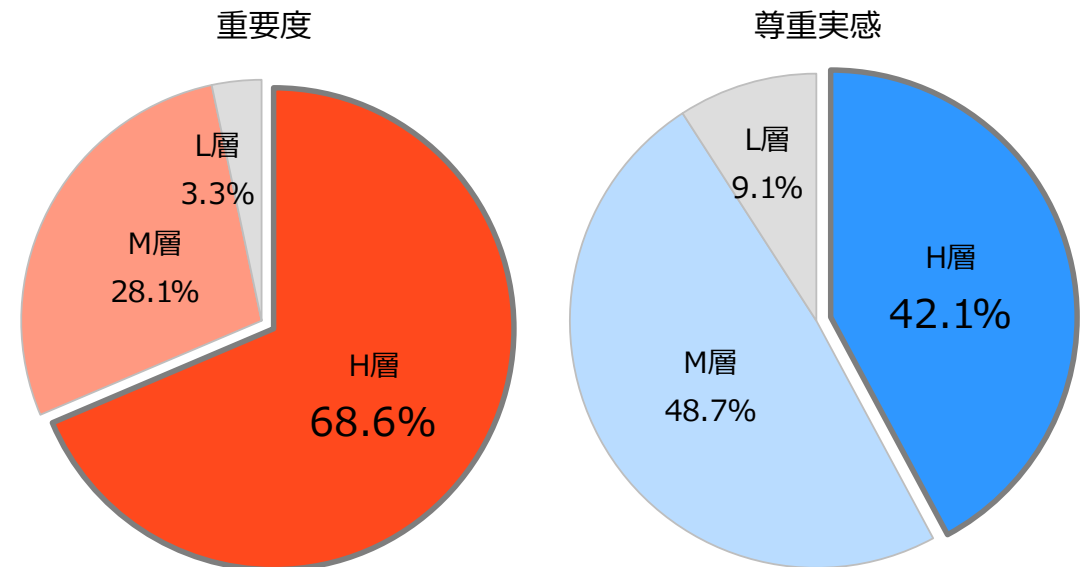
(WB前n=5152 WB後n=5193)



尊重度H層-重要度H層：-15.9pt

女性

(WB前n=5152 WB後n=5111)

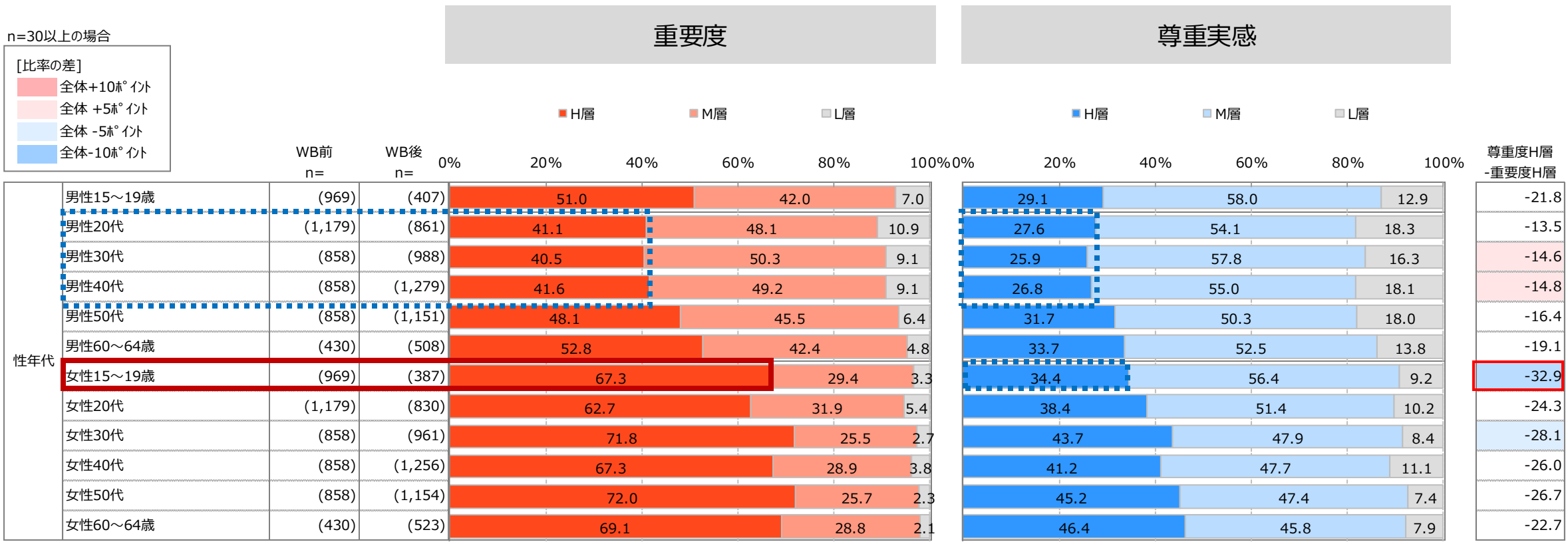


尊重度H層-重要度H層：-26.5pt

SRHRのギャップ（重要度構成 × 尊重度構成）_性年代別

- 男性20-40代は、重要度H層の比率が属性間で低く、尊重実感も低い。
- 特に女性10代は、重要度が67%と高いのに対し、尊重実感が34%とギャップが大きい。

Q4: 下記の事柄について、あなたはどの程度大切だと思いますか。Q5: 下記の事柄は、あなたの普段の生活でどの程度尊重されていますか。



- 重要度と尊重度のギャップが大きいのは、全体、ターゲット層、男女ともに「性感染症や生殖器のがんに対する医療やケア」「妊娠・出産・不妊治療に必要な医療やケアにアクセスできる」「性と生殖の健康に関する情報にアクセスできる」。

会社名	全体差分	ターゲット層差分	男性差分	女性差分
東洋水産	20.5%	18.0%	20.5%	20.5%
三井物産	19.5%	17.0%	19.5%	19.5%
丸紅	19.5%	17.0%	20.5%	20.5%
三井物産	15.5%	13.0%	14.5%	15.5%
丸紅	14.5%	13.0%	16.5%	14.5%
三井物産	15.5%	13.5%	15.5%	16.0%
丸紅	13.5%	13.5%	14.0%	14.0%
三井物産	13.0%	12.5%	14.0%	13.5%
丸紅	12.5%	12.5%	14.5%	12.5%
三井物産	12.0%	10.5%	13.5%	11.5%
丸紅	11.5%	9.0%	13.5%	10.5%
三井物産	7.5%	7.5%	5.5%	9.5%

 1位
 2位
 3位
 4位
 5位

5位		WB前 n=	WB後 n=	とやん けな	きる る正	セの妊 ス必治	力 や	自し 由な	び要 のさ	る分避 この妊	る分持 法のつ	このる と意	こやも と自の	るを こ自	由な うに	由現き 係に するな
重要度	TOP2 全体	(10,304)	(10,304)	84.7	83.5	86.2	80.7	85.7	84.5	84.2	85.9	86.5	85.6	83.3	86.1	77.2
	ターゲット層 (10-20代男女)	(4,296)	(2,484)	82.1	82.6	85.1	78.4	83.0	81.6	82.1	85.6	83.9	82.3	81.5	84.2	80.0
	TOP2 男性	(5,152)	(5,193)	79.6	78.3	81.4	74.1	80.1	79.1	78.2	80.9	81.5	80.0	77.4	81.3	69.5
	TOP2 女性	(5,152)	(5,111)	89.9	88.9	91.0	87.4	91.3	89.9	90.3	90.9	91.6	91.2	89.2	91.0	85.0
尊重度	TOP2 全体	(10,304)	(10,304)	64.0	63.5	66.2	65.4	70.5	69.3	70.4	72.3	73.4	73.3	71.2	74.7	70.1
	ターゲット層 (10-20代男女)	(4,296)	(2,484)	64.0	65.7	68.1	65.6	70.0	68.1	68.9	73.2	71.8	71.9	70.5	75.3	72.4
	TOP2 男性	(5,152)	(5,193)	59.1	58.8	61.0	59.3	63.8	64.4	64.3	66.9	66.9	66.8	63.6	68.4	64.0
	TOP2 女性	(5,152)	(5,111)	68.9	68.2	71.5	71.6	77.3	74.3	76.6	77.8	79.9	79.9	78.9	81.1	76.3
重要度-尊重度 全体差				20.7	20.1	20.0	15.3	15.2	15.2	13.8	13.6	13.1	12.2	12.1	11.4	7.0
ターゲット層 (10-20代男女) 差				18.1	16.8	17.0	12.8	13.0	13.6	13.2	12.3	12.1	10.4	11.0	8.8	7.6
重要度-尊重度 男性差				20.5	19.5	20.4	14.8	16.3	14.7	13.9	14.0	14.6	13.2	13.8	12.8	5.5
重要度-尊重度 女性差				21.0	20.7	19.5	15.8	14.0	15.7	13.6	13.1	11.6	11.2	10.3	10.0	8.6

43

SRHRのギャップ（項目別_重要度:TOP2 × 尊重度:TOP2）_男性年代別

- 男性年代別でも、全体と同様に「妊娠・出産・不妊治療に必要な医療やケアにアクセスできる」「性感染症や生殖器のがんに対する医療やケア」「性と生殖の健康に関する情報にアクセスできる」でギャップが大きい。
- 「性的行為の決定権」も高い傾向にある。

Q4: 下記の事柄について、あなたはどの程度大切だと思いますか。Q5: 下記の事柄は、あなたの普段の生活でどの程度尊重されていますか。

1位

2位

3位

4位

5位

※ギャップスコアのみハッチング

		WB前 n=	WB後 n=	と必性 要感 な症 や生 殖器 のガ ンに アク セス でき るこ と	ア性 クと セ生 ス殖 での 健康 に関 する 正しい 情報 に	セ娠妊 ス中・ でき出 る産 こと・ 必要産 な後、 医療不 や妊 ケア治 に療、 人工人 ク妊	こジェ エン ダー に基 づく 暴力 や強 制が ない	分性的 な行 為を する か、 しな いか を、 自	とど（ した く不 安全 で喜 びの 行為 を強 要さ れな いこ と）	るな（ どの よう な手 段で ）避 妊す るか 、し ない かを 自 分の 意 思で 決 めら れる こと	の子（ いつ 、ど のよ うな 方法 で、 何人 の） 意思 で自 由に 決 めら れる こと	とを（ いつ 、誰 と） 結 婚す るか 、し ない こ	こ自 分の から だは 自 分の 要 望が 尊 重さ れる こ と	自性的 な行 為を する 相手 を自 分の 意 思で 選 べる こ と	にる（ いつ 、誰 と、 どの よう な） 恋 愛を す るか 、し ない かを 、自 分の 意 志で 自 由	れ現 する こと を自 分の 意 思で 自 由に 決 め ら れる よ
重要度 TOP2	男性15～19歳	(969)	(407)	81.8	82.6	83.4	77.4	81.9	81.7	83.0	85.0	83.8	83.2	79.0	83.9	79.0
	男性20代	(1,179)	(861)	74.7	75.6	78.7	69.9	76.6	74.5	74.5	79.9	76.5	74.2	76.2	78.6	72.7
	男性30代	(858)	(988)	77.0	76.6	80.7	72.0	78.8	77.8	77.7	79.6	78.3	76.6	75.2	79.0	69.7
	男性40代	(858)	(1,279)	80.2	78.1	81.2	74.0	79.8	77.6	77.3	80.5	81.0	79.7	76.5	78.9	68.2
	男性50代	(858)	(1,151)	82.1	78.4	82.1	76.7	81.7	82.0	78.2	81.0	84.3	84.5	79.8	83.8	65.8
尊重度 TOP2	男性60～64歳	(430)	(508)	84.6	83.2	85.0	77.5	84.0	84.6	84.3	83.0	88.8	84.8	79.5	88.2	67.4
	男性15～19歳	(969)	(407)	66.2	68.8	66.8	64.5	67.0	67.2	66.8	71.7	71.3	71.4	66.4	73.5	70.1
	男性20代	(1,179)	(861)	59.3	59.6	65.2	59.1	65.1	63.5	63.4	68.9	65.2	64.0	63.5	68.5	67.5
	男性30代	(858)	(988)	59.1	57.1	61.6	57.4	63.3	63.3	63.1	67.9	65.9	66.9	63.3	67.7	63.9
	男性40代	(858)	(1,279)	58.3	58.1	60.7	58.4	62.3	64.3	62.9	64.6	65.2	66.1	62.7	67.5	62.9
重要度 - 尊重度 差	男性50代	(858)	(1,151)	56.8	56.2	56.7	58.9	62.4	64.8	64.9	64.9	67.9	66.2	62.7	67.5	60.8
	男性60～64歳	(430)	(508)	60.5	60.5	59.0	62.6	66.7	65.8	68.3	67.9	70.0	70.8	66.7	70.3	63.1
	男性15～19歳			15.6	13.8	16.5	12.9	14.9	14.5	16.2	13.3	12.4	11.8	12.6	10.4	8.9
	男性20代			15.4	16.0	13.5	10.9	11.5	11.1	11.1	10.9	11.3	10.2	12.7	10.1	5.2
	男性30代			17.9	19.5	19.1	14.6	15.5	14.5	14.6	11.7	12.4	9.7	11.9	11.3	5.8
	男性40代			21.9	19.9	20.6	15.6	17.5	13.3	14.4	15.9	15.8	13.6	13.7	11.4	5.3
	男性50代			25.3	22.2	25.4	17.8	19.3	17.3	13.4	16.1	16.4	18.3	17.1	16.3	5.0
	男性60～64歳			24.2	22.7	26.0	14.9	17.3	18.9	16.0	15.2	18.8	14.1	12.8	17.9	4.3

※全体差分スコアで降順ソート

SRHRのギャップ（項目別_重要度:TOP2 × 尊重度:TOP2）_女性年代別

- 女性年代別でも、全体と同様に「妊娠・出産・不妊治療に必要な医療やケアにアクセスできる」「性感染症や生殖器のがんに対する医療やケア」「性と生殖の健康に関する情報にアクセスできる」でギャップが大きい。
- 「ジェンダーに基づく暴力や強制がない」や「安全で喜びのある性経験」も高い傾向にある。

Q4: 下記の事柄について、あなたはどの程度大切だと思いますか。Q5: 下記の事柄は、あなたの普段の生活でどの程度尊重されていますか。

				と必要な医療やケアにアクセスできること	性と生殖の健康に関する正しい情報にアクセスできること	妊娠・出産・産後、不妊治療、人工妊娠中絶などの必要な医療やケアにアクセスできること	ジェンダーに基づく暴力や強制がないこと	性的な行為をするか、しないかを、自分の意思で自由に決められること	（したくない行為のある性経験をもちたくない）安全で喜びのある性経験をもちたくないこと	（どのような手段で）避妊するか、しないかを自分の意思で自由に決められること	（いつ、どのような方法で、何人の）子どもを持つか、持たないかを、自分の意思で自由に決められること	（いつ、誰と）結婚するか、しないことを、自分の意志で自由に決められること	自分のからだは自分のものとして、プライベートや自分の要望が尊重されること	性的な行為をする相手を自分の意思で自由に選べること	（いつ、誰と、どのような）恋愛をするか、しないかを、自分の意志で自由に決められること	生まれた時の性別に関係なく、どのような性を生きたか・どのような性を表現するかを自分の意思で自由に決められること
				WB前 n=	WB後 n=											
重要度 TOP2	女性15～19歳	(969)	(387)	89.6	90.3	92.1	86.7	89.5	88.1	88.9	90.8	88.9	90.4	87.7	88.9	87.1
	女性20代	(1,179)	(830)	86.5	86.2	89.3	83.7	87.1	86.0	86.4	89.4	89.4	86.5	85.2	87.9	84.9
	女性30代	(858)	(961)	90.4	90.0	92.3	89.0	92.8	91.2	90.6	91.5	92.2	91.2	89.3	92.1	86.0
	女性40代	(858)	(1,256)	89.4	88.1	89.5	84.9	90.3	89.2	89.1	90.1	90.0	90.3	89.0	89.9	84.3
	女性50代	(858)	(1,154)	91.5	88.7	91.6	90.3	94.2	92.4	92.6	92.3	94.1	94.1	91.6	93.3	85.3
尊重度 TOP2	女性60～64歳	(430)	(523)	92.4	92.2	93.2	91.0	92.5	91.5	94.4	91.3	93.8	94.5	91.8	93.2	82.6
	女性15～19歳	(969)	(387)	65.3	70.0	68.3	71.0	72.8	67.9	70.6	75.9	76.7	78.6	72.7	80.1	75.0
	女性20代	(1,179)	(830)	67.4	68.6	71.6	70.4	75.1	73.3	74.9	77.2	76.7	77.4	78.8	81.1	77.5
	女性30代	(858)	(961)	69.8	70.7	74.4	74.9	78.8	77.2	79.7	79.4	80.2	80.1	79.8	81.3	77.9
	女性40代	(858)	(1,256)	67.3	65.7	69.0	69.9	75.7	72.2	75.0	77.6	79.3	77.8	77.4	79.4	75.2
重要度 - 尊重度 差	女性50代	(858)	(1,154)	72.1	69.3	73.8	71.2	80.5	75.7	79.1	78.7	82.9	83.1	80.5	82.4	75.5
	女性60～64歳	(430)	(523)	69.7	65.2	69.2	73.6	77.9	76.9	76.3	75.8	81.9	82.9	81.8	82.1	77.1
	女性15～19歳			24.3	20.3	23.8	15.7	16.6	20.2	18.4	15.0	12.3	11.9	14.9	8.9	12.1
	女性20代			19.2	17.6	17.6	13.3	12.0	12.7	11.5	12.2	12.7	9.1	6.5	6.8	7.4
	女性30代			20.6	19.3	17.9	14.1	14.0	14.0	10.9	12.1	11.9	11.2	9.5	10.8	8.0
	女性40代			22.2	22.4	20.5	15.0	14.7	17.0	14.0	12.5	10.8	12.5	11.6	10.5	9.1
	女性50代			19.4	19.4	17.8	19.1	13.7	16.7	13.4	13.6	11.3	11.0	11.1	10.8	9.8
	女性60～64歳			22.7	27.0	23.9	17.5	14.6	14.6	18.1	15.5	11.8	11.6	10.0	11.0	5.4

1位

2位

3位

4位

5位

※ギャップスコアのみハッチング

※全体差分スコアで降順ソート

トピックスパート

2025年度単発聴取

Key Takeaways

性の知識

- 「性に関する意識あり」という意識は、全体層とターゲット層ともに**6割程度**
- 「性に対する学習意向」では、全体層で4割程度、ターゲット層では6割と**若年層ほど学習意向が高い結果に**

性的同意

- 全体層の**性的同意の認知率**（見聞きしたことがある）は**85%、理解率は54%**
- ターゲット層は全体層をやや上回り、認知率88%、理解率は59%
- 性的同意の**学習経験は、全体で2割程度**に留まる
- ターゲット層では4割、15～19歳では5割程度と、**若年層ほど学習経験が高い結果に**
- **性的同意の重要意識**は、全体・ターゲット層ともに**9割弱とほとんどの人が重視**している
- 一方、実践度合いでは「**確認したことがない**」が15%。「（ときどき含め）**確認している**」が70%、うち「**毎回同意を取れている自信がある**」は26%となった

性的同意模試

- 全体層・ターゲット層ともに、**平均正答個数は7個程度**（10問中）
- 最も**正答率が低かった設問は「性的同意年齢」**で、正解率3割。次いで「付き合ったり結婚している間柄でも毎回性的同意を得る必要がある」の8割弱。

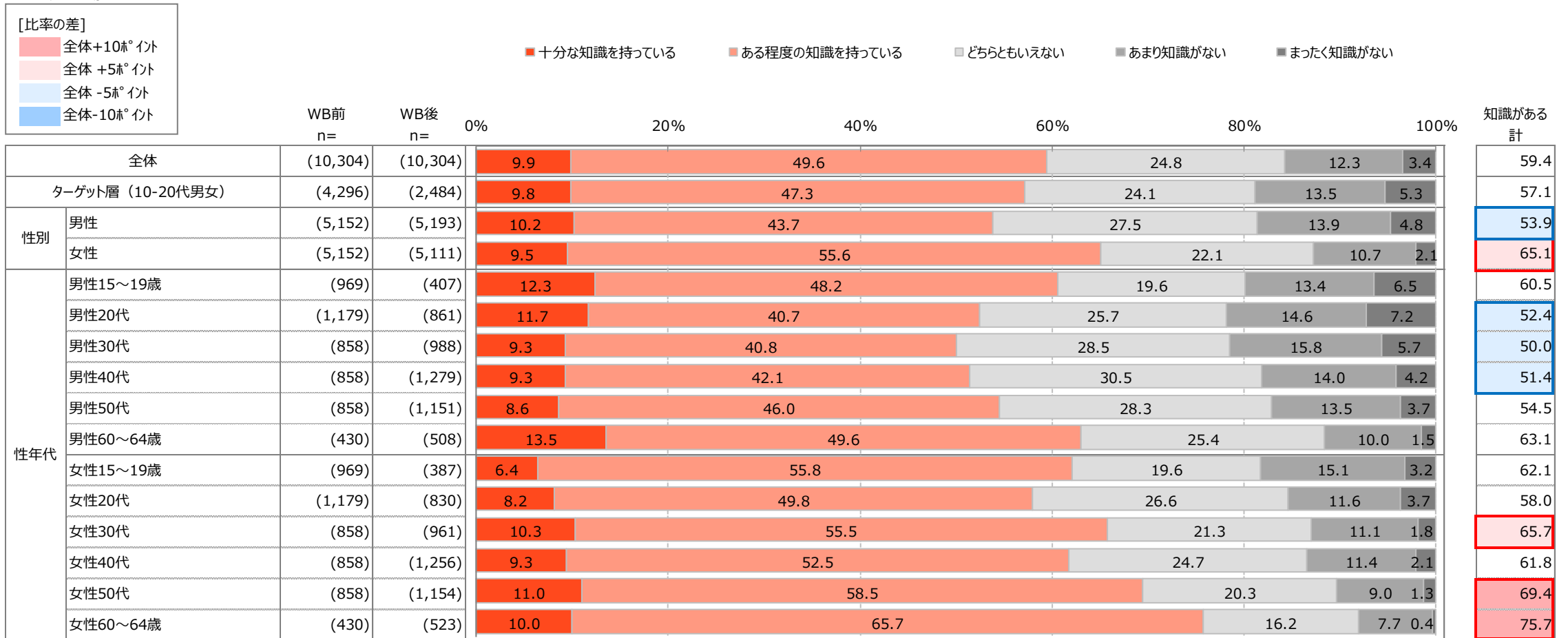
性の知識

性に関する知識

- 全体で「性に関する知識がある（TOP2）」のは6割。ターゲット層も全体と同水準。
- 男性より女性で高い傾向にあり、男性20-40代で低く、女性30・50-60代で高い。

Q8:あなたは、「性に関する知識（避妊や妊娠・出産・中絶、性的同意、性の多様性など）」を十分に持っていると思いますか。

n=30以上の場合

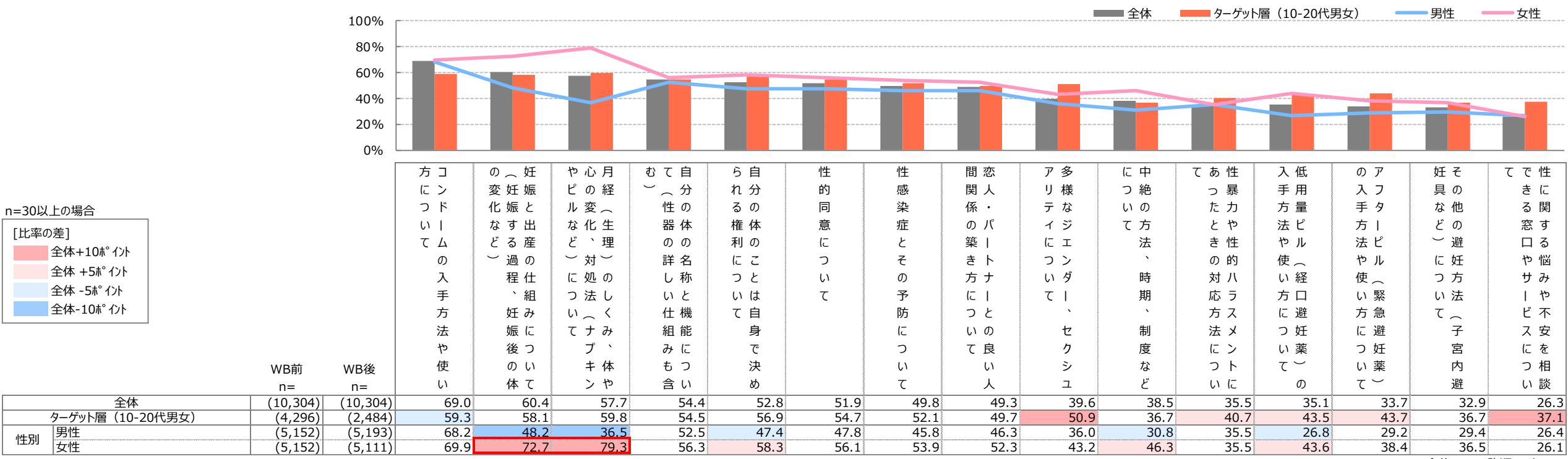


※知識がある計：「十分な知識を持っている」+「ある程度の知識を持っている」

性に関する知識（詳細）：TOP2

- 「知識がある」項目では、全体・ターゲット層で「コンドームの入手方法や使い方」「妊娠と出産の仕組み」「月経の仕組み、からだの変化、対処法」が上位。
- 女性特有の事柄（妊娠・月経など）は女性で高く、男性で低い傾向。

Q9:あなたは、以下の「性の知識」に関する項目について、十分な知識を持っていると思いますか。

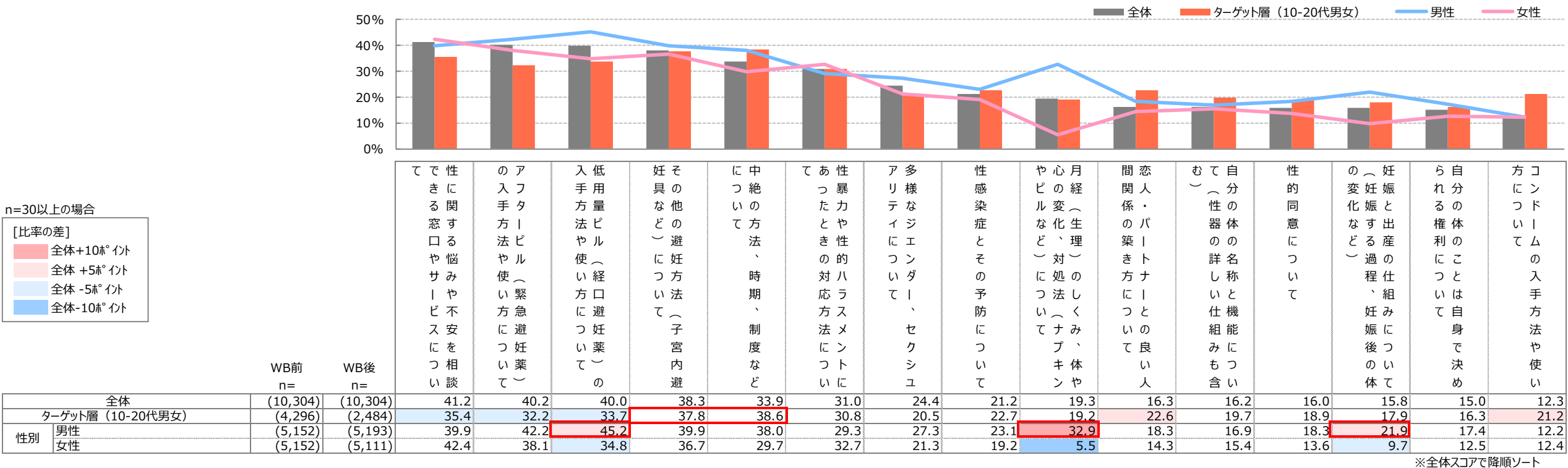


※全体スコアで降順ソート

性に関する知識（詳細）：BTM2

- 「知識がない」項目では、全体で「性に関する悩みや不安を相談できる窓口について」「アフターピルの入手方法や使い方」「低用量ピルの入手方法や使い方」が上位。ターゲット層では「中絶の方法、時期、制度」「その他の避妊方法」が上位。
- 「持っている知識」と同様の傾向で、女性特有の事柄（低用量ピル・妊娠・月経など）は、特に男性に知られていない傾向。

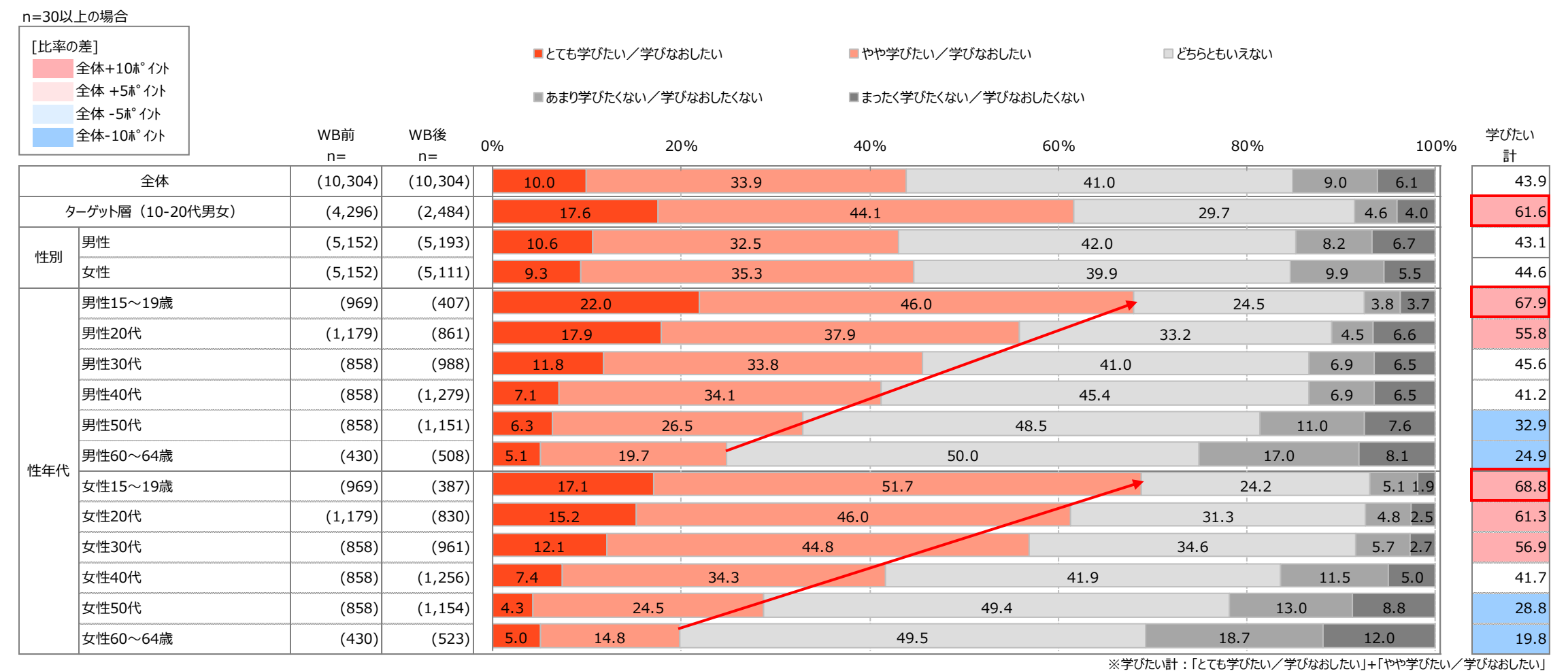
Q9:あなたは、以下の「性の知識」に関する項目について、十分な知識を持っていますか。



性に対する学習意向

- 性に対する学習意向は、全体で4割強。ターゲット層では6割と、全体に比べ高い。
- 男女間での差は見られず、男女ともに若年層ほど学習意向が高く、15-19歳は7割弱と高い水準。

Q10:あなたは、「性に関する知識（避妊や妊娠・出産・中絶、性的同意、性の多様性など）」について、機会があれば学びたい／学びなおしたいと思いますか。



性に対する学習意向理由

- 若年層では「学校の授業では不十分であり、自分自身で学ぶ必要がある」、若年男性では「パートナーに寄り添いたい」「女性特有の問題を理解したい」、若年女性では「自分の身は自分で守る必要がある」という意見がみられた。
- 40代以上では、自分のためではなく、子供のために知識を得たいという意見が多く挙がった。また、時代の変化に伴う知識のアップデートが必要という意見も見られた。

Q11:「性に関する知識（避妊や妊娠・出産・中絶、性的同意、性の多様性など）」について、そう思った理由を具体的に、できるだけ詳しくお知らせください。

意向あり

学校教育では不十分

学校では**オブラートに包みすぎて大事なところが欠けている**と感じている。さらに、性的行為を「やってはいけないこと」という認識にさせられているから、**どういう対策ができるかをおしえて貰いたい**（男性/15-19才）

性交渉などには必ずパートナーの存在が伴うため、**他人事ではなく自分の事だという意識がある**ため。学校教育のみでは**不十分**であるため、学び直す機会や場所があるともありがたい（男性/20代）

男性：女性に寄り添いたい

SNS上で生理に関する問題が浮き彫りとなっている際に、知識が不十分だったために自分の中で**なんの意見を持つこともできなかった**から（男性/15-19才）

妻と付き合いしている時に、**女性の周期、つわり、陣痛などの身体に対する変化、痛みについて、どのくらい辛いことなのか私では理解できず、無神経な発言をしてしまった**かなと思うことがあるから。（男性/30代）

女性：自分の身は自分で守る

まだ日本は性に関して男性が優位というか女性ばかりがリスクを負わないといけない部分大きい。そのためやはり**女性である自分が守りをする術を持つ必要がある**と思うから（女性/15-19才）

自分に子供が出来た時、出産の準備などしないといけないから。ニュースで**性的被害を受けている人がたくさんいる**から。自分自身が気づかずに**相手を性的差別して傷つけたくない**から（女性/15-19才）

子供に正しい知識を教えたい

自分はもう年なのであまり関係ないが、**子供や孫達に何か助言ができた**ら良いかなと思う（男性/60-64才）

子どもに適切な性教育を受けさせたいため。歪んだ知識を植え付けられる前に、きちんと教えておきたいが、教え方を誤るとかえって恐怖心を与えたり、トラウマになったりすることになりそうで、どの段階でどう教えていくか頭を悩ませている。その教え方を学びたい。（女性/40代）

昨今、ジェンダー、性に関する社会的な問題が多く報道されており、時代が変わって来ていると感じている。**自身に娘がいる為、この話題に対しては特に身近で重要な事だ**と感じているため（男性/40代）

自分自身は妊娠、出産はもう通り過ぎてしまいましたが、我が子が今からそこを通るかもしれないので、**母親として正しい情報を持ちたい**と思います（女性/50代）

知識のアップデート

男は男 女は女という時代で育ったため、**今の多様性の時代に理解は出来るが考えが追いついていけない**部分がある（男性/50代）

若い頃とは性の多様性についての情報が近年多くなってきたので**新しい知識の更新が必要**と思うから（女性/60-64才）

性に対する学習意向理由

- 「今ある知識で十分」「興味・関心がない」などが主な理由。一部、「恥ずかしい」「避けたい話題」という意見も挙がっていた。
- 50代以上では、性行為に対して「年齢的に必要ない」という意見が多かった。また、「子どもは成人した」「子供がいなかったため知識を持つ必要がない」という意見も挙がっている。

Q11:「性に関する知識（避妊や妊娠・出産・中絶、性的同意、性の多様性など）」について、そう思った理由を具体的に、できるだけ詳しくお知らせください。

意向なし

知識は十分・興味関心がない

今ある知識で十分だと思うから（男性/15-19才）

大体知ってるし調べたら出てくるから（男性/20代）

自身の**既存の知識で十分**だと思っており、そこを外れる範疇の知識は一般常識に基づいて都度考えていけば良いと考えているから（男性/30代）

自分には関係ない事のように感じるため（女性/15-19才）

疑問に思った時や困ったことが起きた時に自分で検索すると思うので、**現時点では学びたい気持ちはない**から（女性/20代）

妊娠中、出産をへておおよそ知っているので学ばなくてもいいかと思った（女性/40代）

恥ずかしい・避けたい

現在でも厳然と存在はしているが**忌避される傾向にある話題**であり問題として提起したくない（男性/40代）

性に関する知識を学ぶのが**恥ずかしい**と思ってしまう。知っておいたほうがいいのはわかるが、どうしても嫌悪感や羞恥心みたいなものがあるから積極的に学ぼうとは思えない（女性/15-19才）

年齢的に不要

年齢的に関係ないので（男性/60-64才）

50代になるのであまり身近な問題ではなくなってきている。自分が30代までであれば学び直したい（女性/40代）

子供が成人・子供がいらない

子どもも成人したので（男性/40代）

若い時と違って興味も失せたと**子供もいないので自分の事としてでは関心がない**（女性/50代）

性的同意

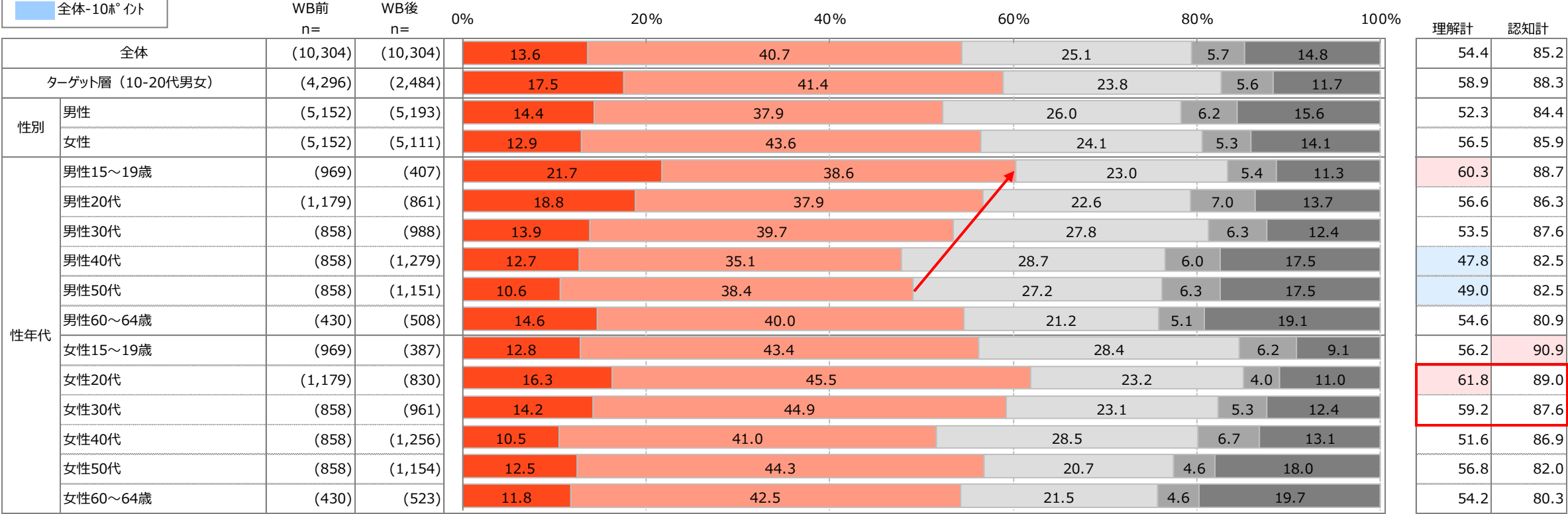
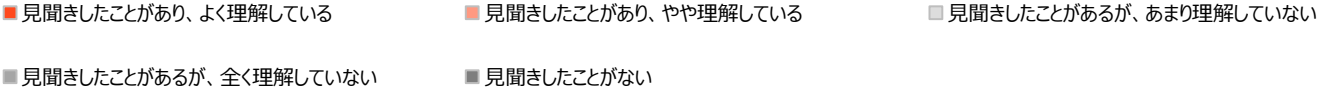
性的同意に対する認知・理解

- 全体でみると、性的同意の理解は5割中盤、認知は8割中盤。ターゲット層では、理解・認知ともに全体をやや上回る。
- 男性は若年層ほど理解・認知が高い傾向。女性は20-30代で理解6割、認知9割と高い水準。

Q12:あなたは、性的同意という言葉を見聞きしたことがありますか。見聞きしたことがある場合は、どの程度理解していますか。

n=30以上の場合

[比率の差]	
全体+10ポイント	
全体+5ポイント	
全体-5ポイント	
全体-10ポイント	



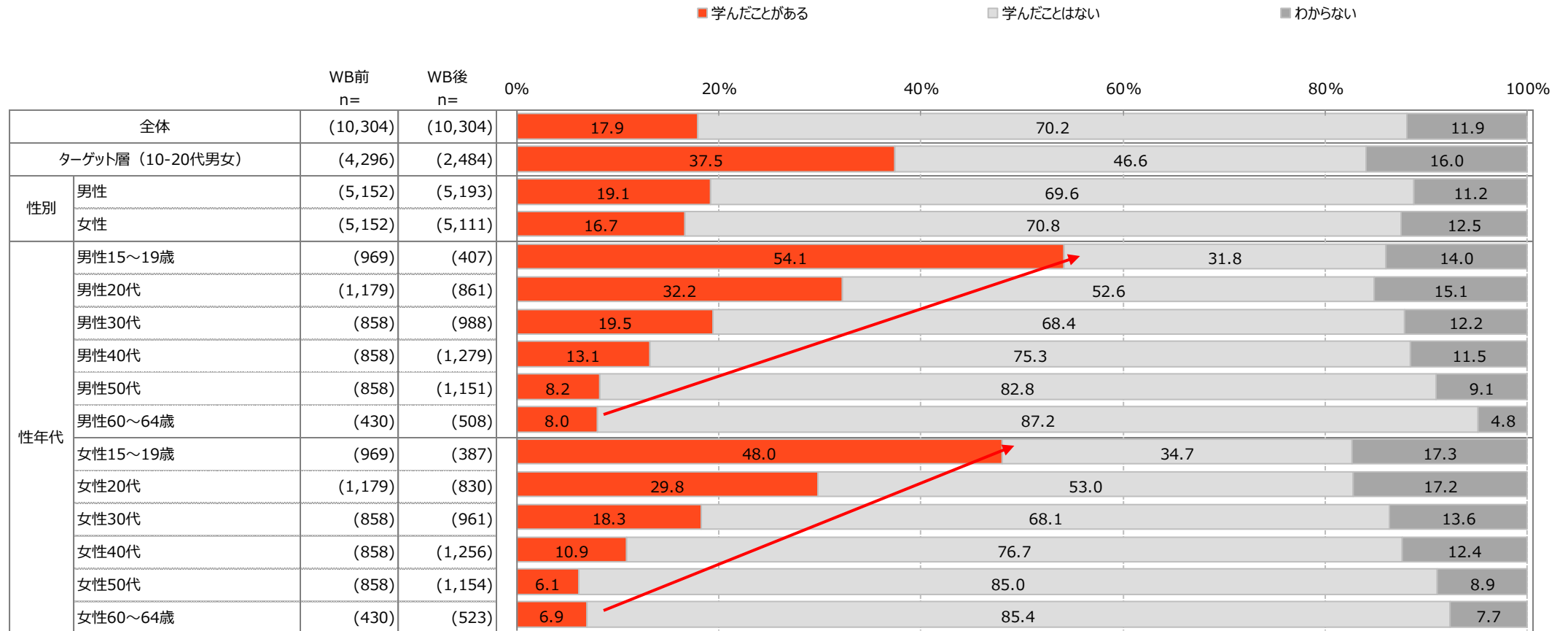
※理解計：「見聞きしたことがあり、よく理解している」+「見聞きしたことがあり、やや理解している」

※認知計：「見聞きしたことがあり、よく理解している」+「見聞きしたことがあり、やや理解している」+「見聞きしたことがあるが、あまり理解していない」+「見聞きしたことがあるが、全く理解していない」

性的同意の学習経験

- 全体の性的同意の学習経験は2割弱。ターゲット層では4割弱と高い。
- 男女ともに若年層ほど学習経験があり、10代/20代でも20ptほど差が開いている。40代以上は1割前後と低い水準。

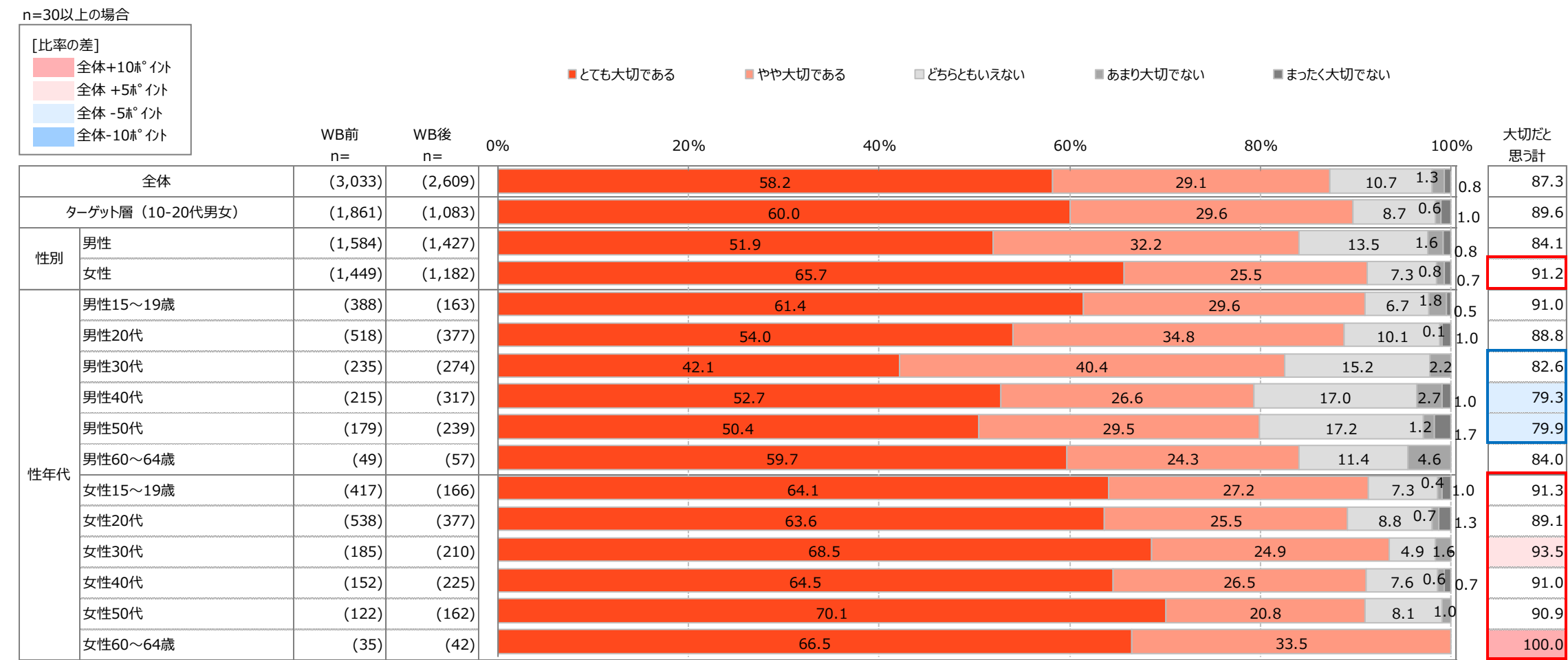
Q13:性的同意とはキスや身体に触れること、性的な行為を含むすべてにおいて、相手の意思を確認し合うことです。あなたは、性的同意について学んだことがありますか。



性的同意の重視度（交際経験ありベース）

- 交際経験ありベースでみると、重視度は9割弱とほとんどの人が重視している。
- 男性に比べ女性の重視度が高い傾向にあり、ほとんどの年代で9割を超える。一方、男性30-50代は8割に留まっている。

Q14:あなたは、性的同意（キスや身体に触れること、性的な行為を含むすべてにおいて、相手の意思を確認し合うこと）はどの程度大切だと思いますか。



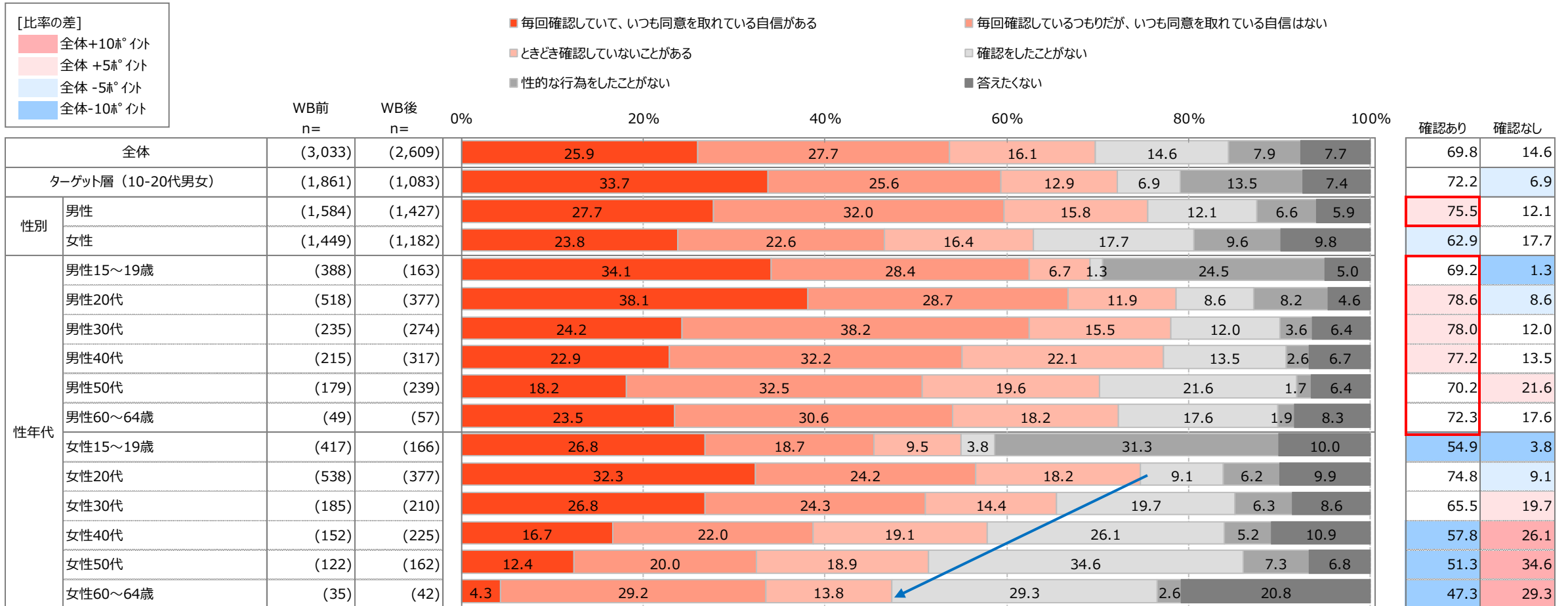
※大切だと思う計：「とても大切である」+「やや大切である」

性的同意の実施実態（交際経験ありベース）

- 交際経験ありベースでみると、全体で「確認あり」が7割、「毎回同意を取れている」が2割中盤。ターゲット層は全体に比べ、いずれもやや高い。
- 女性より男性の実施率が高く、「確認あり」は年代問わず7割前後となっている。一方、女性は年代が上がるにつれ「確認あり」が減少している（「性交渉しない」女性が閉経後に増えるといった可能性も考慮したい）。

Q15:あなたは、性的同意（キスや身体に触れること、性的な行為を含むすべてにおいて、相手の意思を確認し合うこと）を相手に明確に確認できていると思いますか。

n=30以上の場合



※確認あり：「毎回確認していて、いつも同意を取れている自信がある」+「毎回確認しているつもりだが、いつも同意を取れている自信はない」+「ときどき確認していないことがある」

※確認なし：「確認をしたことがない」

性的同意模試：設問別正答率

- ほとんどの項目で8割以上が正解。
- 最も正答率が低かったのは「性的同意年齢」で、正解率3割。次いで「付き合ったり結婚している間柄でも毎回性的同意を得る必要がある」の8割弱。
- 性の知識有無別では、知識ありの正答率がやや高め、特に「付き合ったり結婚している間柄でも毎回性的同意を得る必要がある」のスコア差が大きい。

Q16:性的同意（性的な行為の前に相手の意思を確認すること）に関する以下項目について、正しいと思うものをお知らせください。
Q17:法律で性行為に同意する能力があると認められている年齢として、正しいと思うものをお知らせください。



※全体スコアで降順ソート
性的同意年齢：年齢選択率【全体スコア】
・14歳：8.4%
・18歳：61.8%

性的同意模試：設問別正答率（性年代別）

- 男性若年層で、全般的に正答率がやや低い傾向。

Q16:性的同意（性的な行為の前に相手の意思を確認すること）に関する以下項目について、正しいと思うものをお知らせください。
Q17:法律で性行為に同意する能力があると認められている年齢として、正しいと思うものをお知らせください。

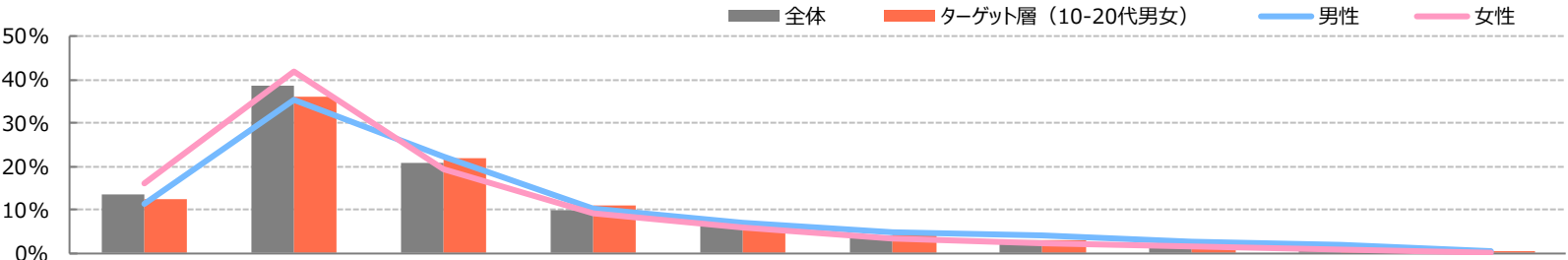
n=30以上の場合				のる部	認相一	もキ	同身	意泊相	的も上	いれが無	るも婚付	るが性
[比率の差]				サの屋	し手度	OS	はに	である	同意は	るば、理	必、をき	年あ行
				イン、ふ	なで性	のし	触	るこ家	断関	と、いや	が回てっ	とに
				で性た	てれ関	サた	れる	とは行	成れがあ	え意」で	あ性いて	認め意
				る為き	もば係	イン、	であ	は、く	立なある	てがとな	る的るい	らす
				るより	良、を	ン、	であ	性こ	すける	よ成言、	同間た	れる
				Oに	い毎持	で性	るけ	的と	るれ相	い立わ、	をで、	て能
				Kな	回っ	あ行	なら	同や	ば手	しな相	得結	い力
					確た	る為			性で	てけ手		
				WB前	WB後							
				n=	n=							
性年代	男性15～19歳	(969)	(407)	87.2	86.4	88.3	82.5	80.2	67.7	76.5	70.7	26.6
	男性20代	(1,179)	(861)	82.6	81.3	80.6	83.1	79.1	71.6	72.7	67.7	26.3
	男性30代	(858)	(988)	86.8	87.0	85.1	86.7	80.9	76.2	78.5	71.9	30.8
	男性40代	(858)	(1,279)	88.2	84.0	84.1	86.0	79.4	75.8	75.1	70.8	28.6
	男性50代	(858)	(1,151)	88.6	87.4	86.1	89.3	80.8	80.2	76.3	74.6	26.9
	男性60～64歳	(430)	(508)	89.4	87.5	88.4	90.3	79.7	78.1	71.8	72.6	27.8
	女性15～19歳	(969)	(387)	94.4	93.3	94.0	85.1	84.5	73.0	82.5	80.2	27.0
	女性20代	(1,179)	(830)	92.0	91.6	92.2	91.7	84.6	80.5	83.8	78.3	31.6
	女性30代	(858)	(961)	92.9	93.1	93.8	92.8	83.0	83.0	84.3	80.5	32.7
	女性40代	(858)	(1,256)	92.1	92.6	93.8	90.7	81.5	83.7	80.4	80.8	34.0
	女性50代	(858)	(1,154)	88.4	93.2	93.2	91.8	76.6	77.9	75.0	83.0	30.7
	女性60～64歳	(430)	(523)	88.1	93.5	93.0	92.3	75.0	75.8	71.3	81.9	30.3

※全体スコアで降順ソート

性的同意模試：正答個数

- いずれの層も、8個正解が最も多い。
- 性の知識有無別では、知識ありの8-9個正解が、知識なしを10pt上回る。

Q16:性的同意（性的な行為の前に相手の意思を確認すること）に関する以下項目について、正しいと思うものをお知らせください。
Q17:法律で性行為に同意する能力があると認められている年齢として、正しいと思うものをお知らせください。



n=30以上の場合

[比率の差]			

		WB前 n=	WB後 n=	9 個	8 個	7 個	6 個	5 個	4 個	3 個	2 個	1 個	0 個	平均 正答 個数
全体		(10,304)	(10,304)	13.6	38.5	20.8	9.7	6.4	4.2	3.1	2.1	1.3	0.3	7.0
ターゲット層 (10-20代男女)		(4,296)	(2,484)	12.3	36.0	21.8	10.9	7.0	4.8	3.0	2.3	1.5	0.3	6.9
性別	男性	(5,152)	(5,193)	11.4	35.3	22.1	10.2	7.0	4.9	4.0	2.6	1.9	0.6	6.7
	女性	(5,152)	(5,111)	15.9	41.7	19.5	9.3	5.7	3.4	2.2	1.5	0.7	0.1	7.2
性の知識あり(Q8TOP2)		(6,121)	(6,123)	15.4	40.6	19.4	8.9	5.8	3.8	2.9	1.8	1.0	0.3	7.1
性の知識なし(Q8BTM2)		(1,698)	(1,623)	10.3	34.3	23.2	11.6	7.0	4.7	4.2	2.6	1.7	0.5	6.7

※全体スコアで降順ソート

性的同意模試：正答個数

- 男性若年層は8-9個正解が低いのが特徴。女性20-50代の正答率が高い。

Q16:性的同意（性的な行為の前に相手の意思を確認すること）に関する以下項目について、正しいと思うものをお知らせください。
Q17:法律で性行為に同意する能力があると認められている年齢として、正しいと思うものをお知らせください。

n=30以上の場合

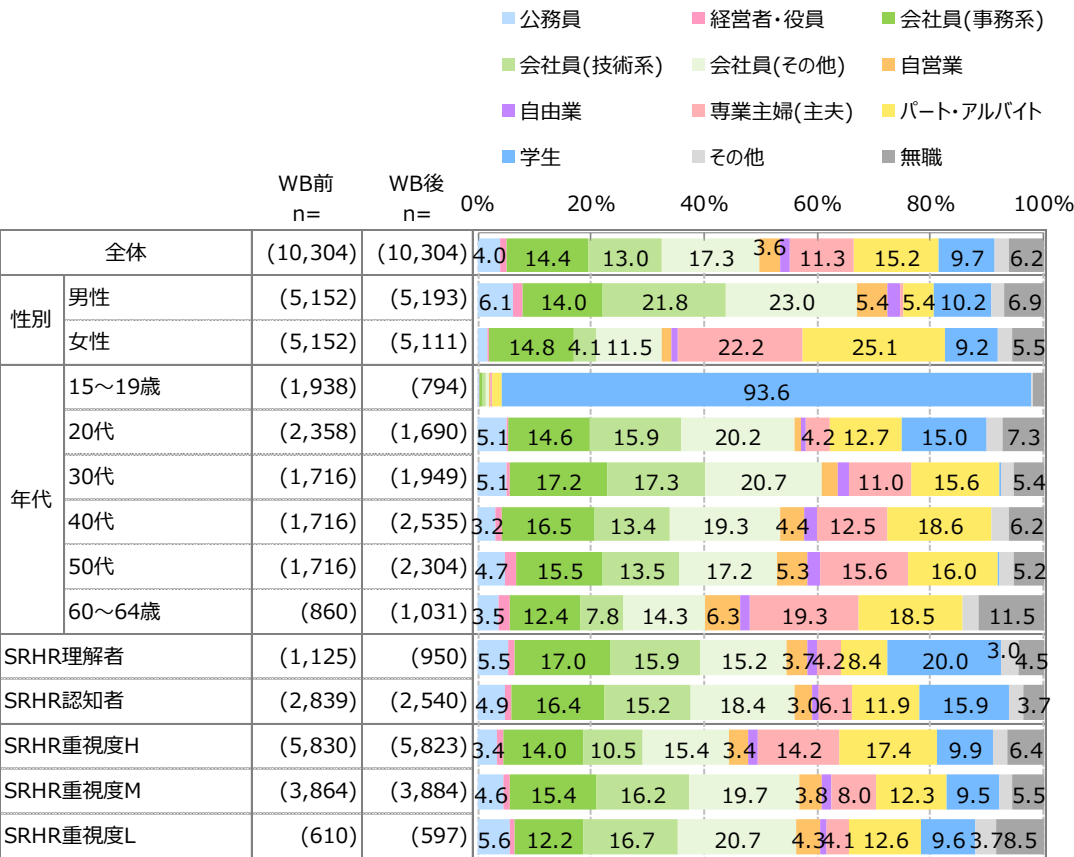
[比率の差]				9 個	8 個	7 個	6 個	5 個	4 個	3 個	2 個	1 個	0 個	平均 正答 個 数
		WB前 n=	WB後 n=											
性年代	男性15～19歳	(969)	(407)	9.6	30.4	25.5	12.7	7.6	6.8	3.7	2.2	1.0	0.4	6.7
	男性20代	(1,179)	(861)	9.5	30.9	21.3	11.3	9.2	5.9	5.2	3.5	2.6	0.5	6.5
	男性30代	(858)	(988)	12.5	37.5	20.9	9.1	6.5	5.2	2.8	3.3	1.7	0.4	6.8
	男性40代	(858)	(1,279)	10.6	36.7	22.5	9.0	6.2	4.7	5.4	2.0	2.2	0.8	6.7
	男性50代	(858)	(1,151)	13.1	37.0	21.0	11.0	6.2	4.4	2.9	2.4	1.6	0.5	6.9
	男性60～64歳	(430)	(508)	12.0	35.4	24.5	9.3	7.8	3.1	3.4	2.0	1.8	0.8	6.9
	女性15～19歳	(969)	(387)	10.8	38.8	26.2	11.6	6.5	3.8	1.4	0.5	0.3	-	7.1
	女性20代	(1,179)	(830)	17.2	42.6	18.5	9.4	4.6	3.2	1.2	1.9	1.2	0.1	7.3
	女性30代	(858)	(961)	18.6	43.8	18.4	7.3	5.1	2.9	1.6	2.0	0.3	0.1	7.4
	女性40代	(858)	(1,256)	17.0	43.6	19.1	7.3	5.6	3.1	2.6	1.1	0.5	0.1	7.3
	女性50代	(858)	(1,154)	15.0	40.2	18.8	10.1	6.5	3.7	3.5	1.4	0.7	0.1	7.1
	女性60～64歳	(430)	(523)	12.2	37.7	20.7	14.5	6.6	3.8	1.8	1.8	0.9	-	7.0

※全体スコアで降順ソート

Appendix

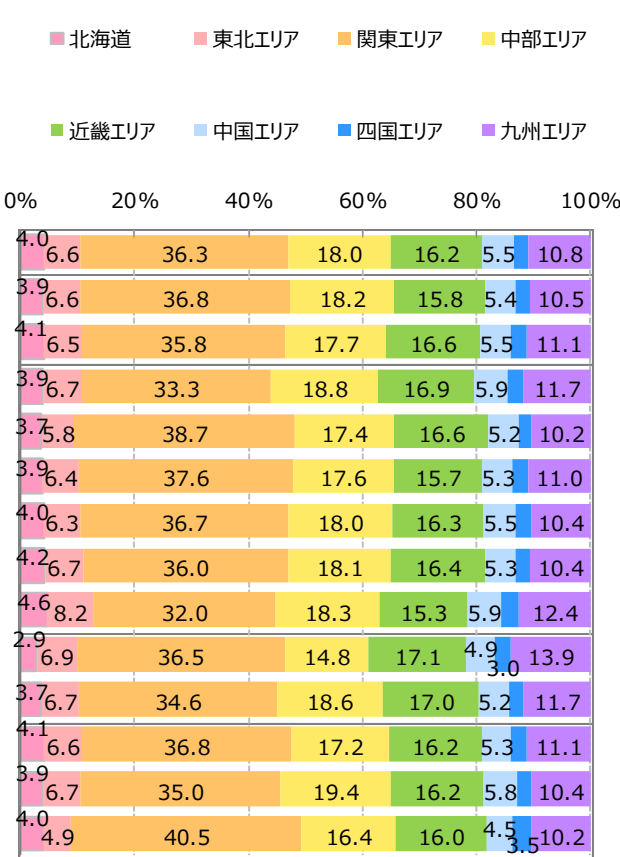
回答者プロフィール

職業



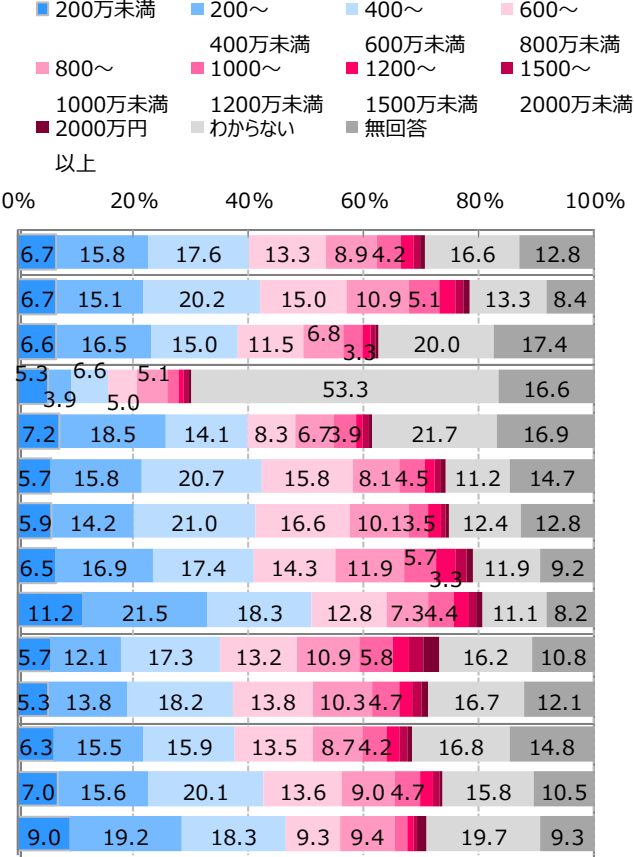
※3%未満のスコア非表示

居住エリア



※3%未満のスコア非表示

世帯年収

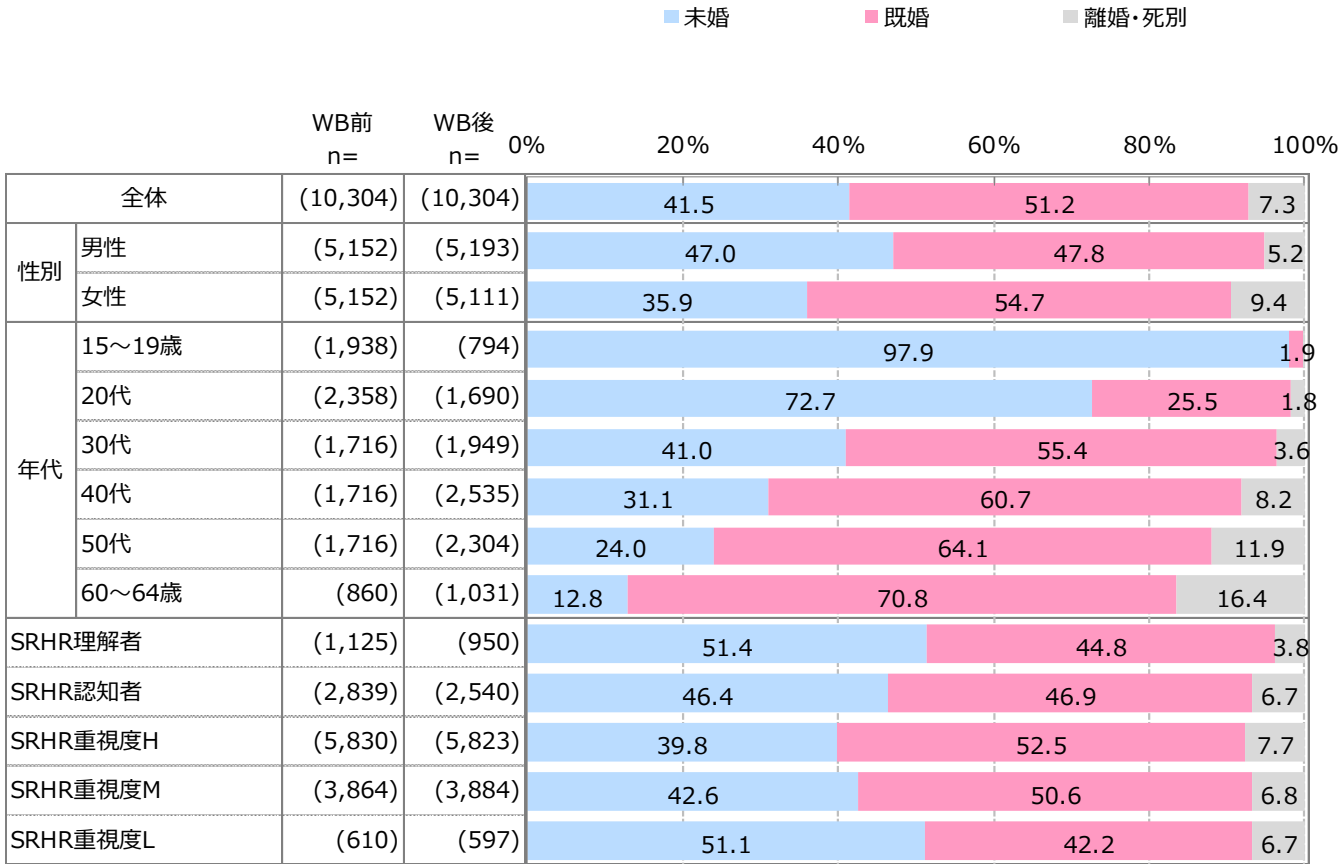


※3%未満のスコア非表示

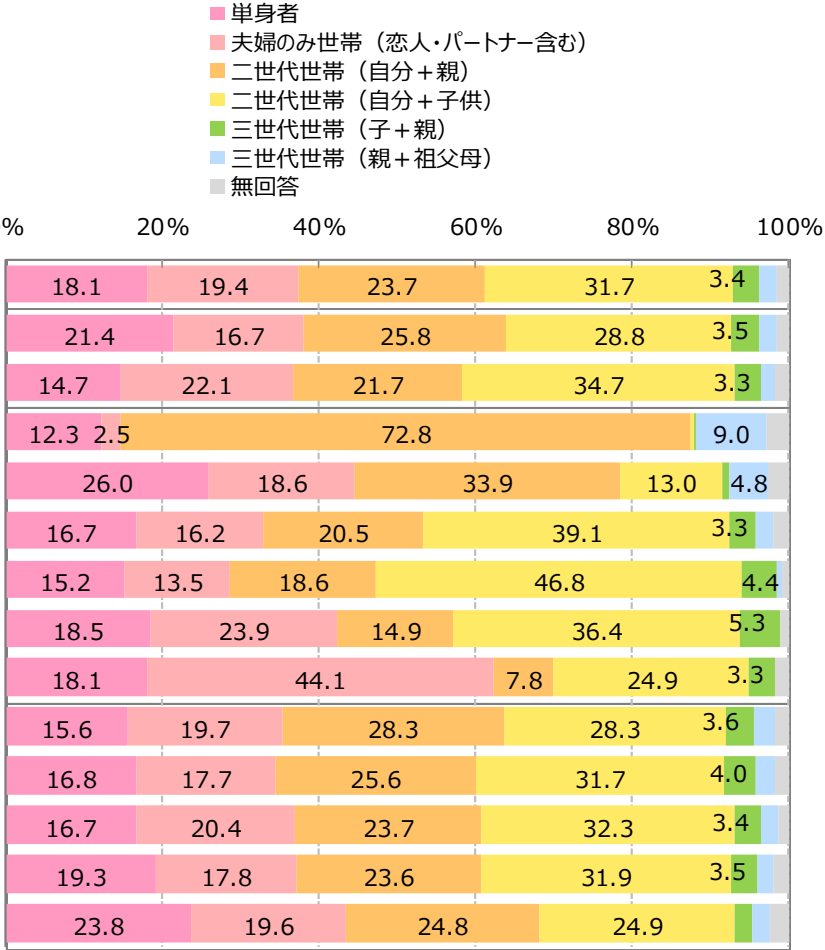
回答者プロフィール

未婚

同居家族



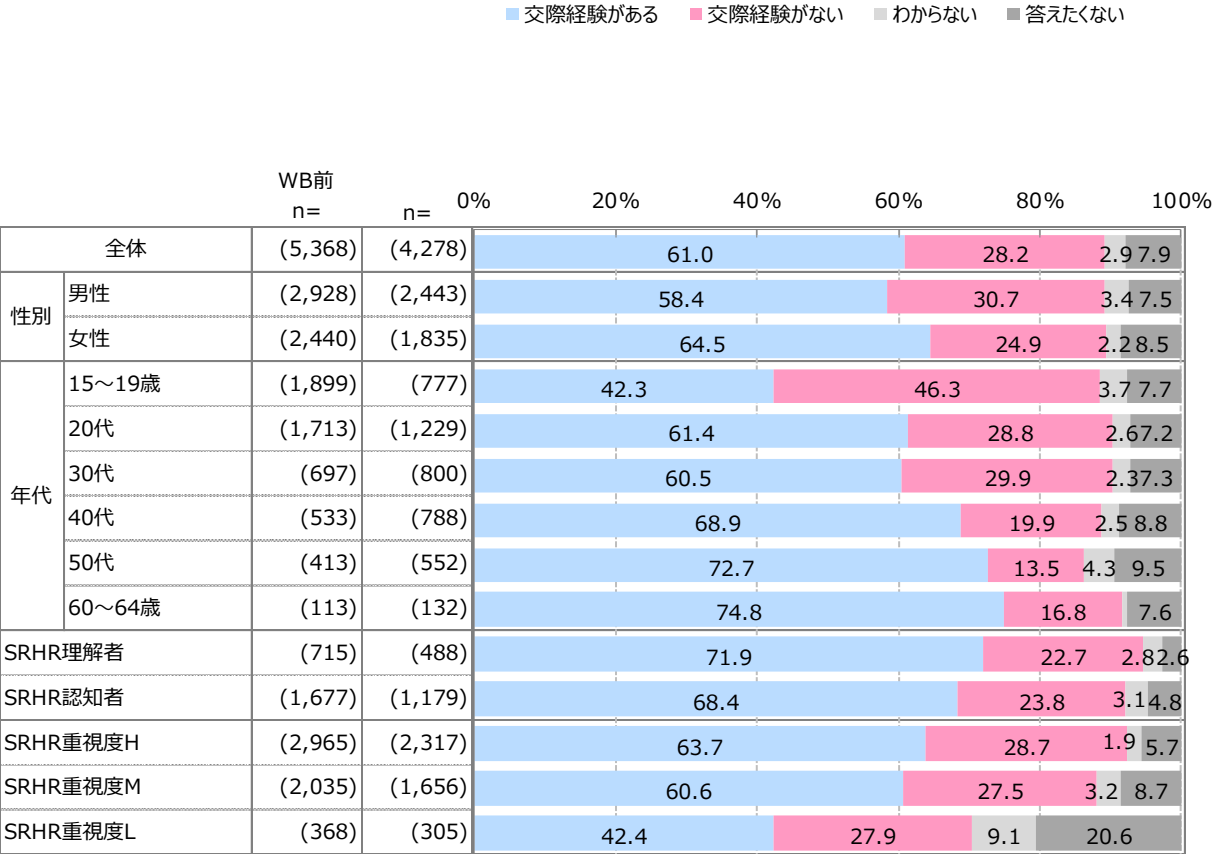
※1%未満のスコア非表示



※3%未満のスコア非表示

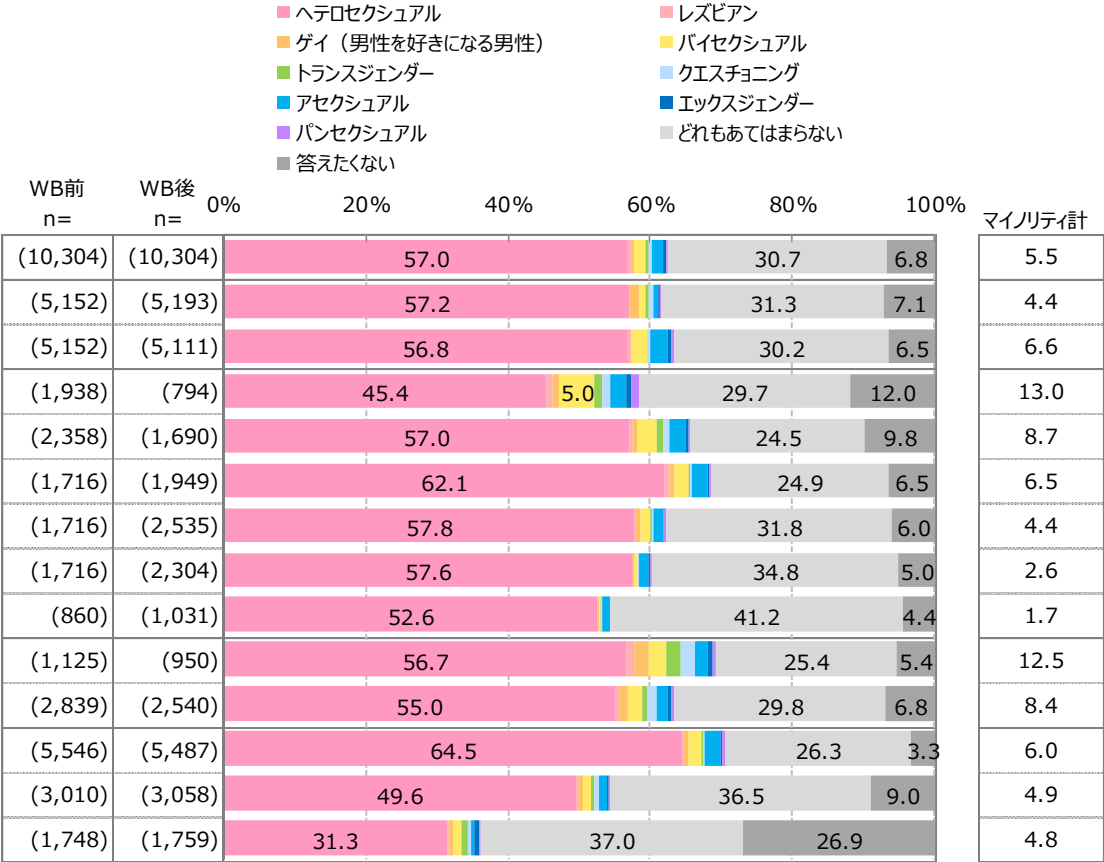
回答者プロフィール

交際経験（未婚者ベース）



※1%未満のスコア非表示

セクシュアリティ



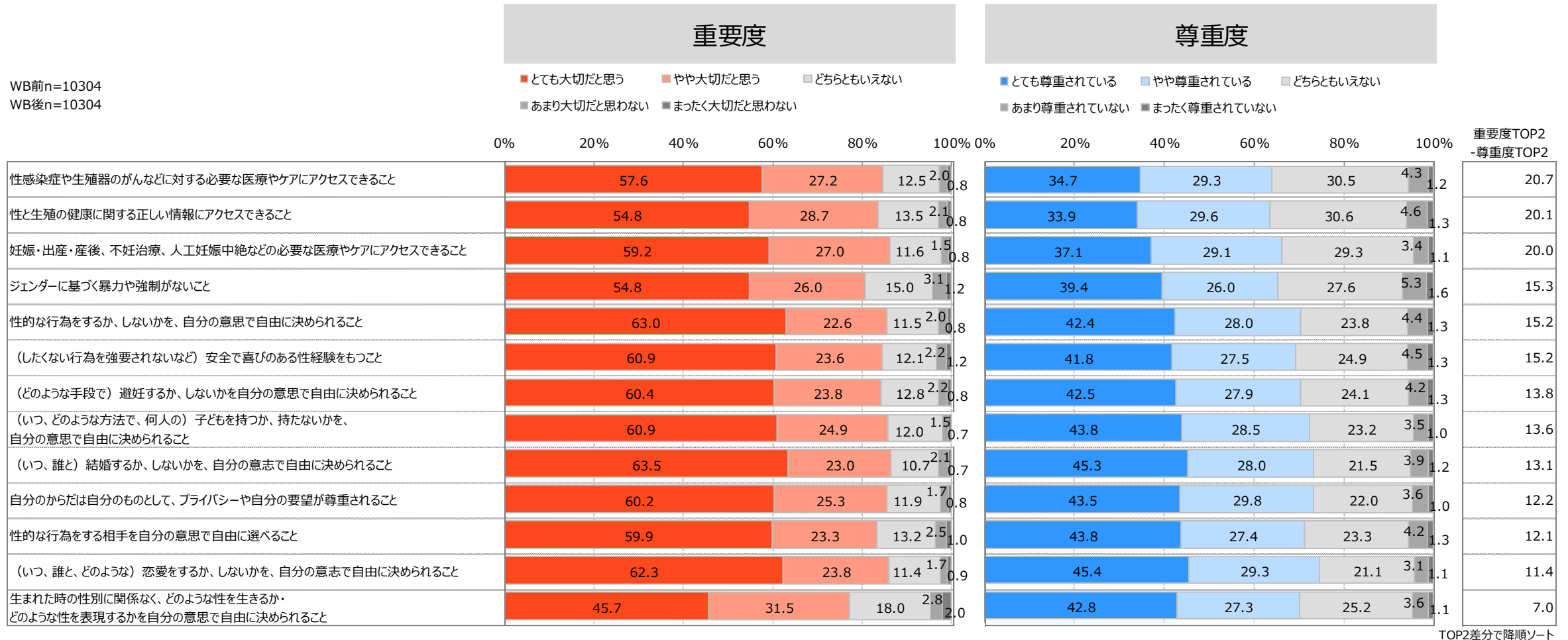
※3%未満のスコア非表示

※「マイノリティ計」：レズビアン～パンセクシュアル

SRHRの実態（重要度 × 尊重度）

- 重要度と尊重度のギャップが大きいのは、「性感染症や生殖器のがんに対する医療やケア」「妊娠・出産・不妊治療に必要な医療やケアにアクセスできる」「性と生殖の健康に関する情報にアクセスできる」。
- ギャップの大きい上位項目は、いずれも重要度TOP2は8割と高いが、尊重度が6割に留まっている。

Q4: 下記の事柄について、あなたはどの程度大切だと思いますか。Q5: 下記の事柄は、あなたの普段の生活でどの程度尊重されていますか。



性に関する知識（詳細）：TOP2（性年代別）

- 女性は年代問わずスコアが高めだが、男性は20代以上で低い傾向。

Q9:あなたは、以下の「性の知識」に関する項目について、十分な知識を持っていると思いますか。

n=30以上の場合

[比率の差]

全体+10%以上

全体+5%以上

全体-5%以下

全体-10%以下

		WB前 n=	WB後 n=	入 手 方 法 や 使 い	妊 娠 後 の 体	出 産 の 仕 組 み に 関 連 した 知 識	性 器 の 機 能 に 関 連 した 知 識	自 分 の 体 の 機 能 に 関 連 した 知 識	性 感 染 症 と そ の 予 防 に 関 連 した 知 識	性 的 同 意 に 関 連 した 知 識	性 感 染 症 の 予 防 に 関 連 した 知 識	間 接 的 に 関 連 した 知 識	ア リ テ ィ に 関 連 した 知 識	に 関 連 した 知 識	中 絶 の 方 法 、 時 期 、 制 度 な ど	あ ら わ せ る 性 的 暴 力 の 対 処 方 法 な ど	入 手 方 法 や 使 い に 関 連 した 知 識	の ア フ タ ー の 知 識	妊 娠 の 知 識	そ の 他 の 知 識	で き る 性 に 関 連 した 知 識
性年代	男性15～19歳	(969)	(407)	57.9	57.1	44.4	58.3	60.9	57.3	60.2	50.3	52.7	36.1	47.1	38.6	41.7	34.7	45.0			
	男性20代	(1,179)	(861)	58.3	47.7	40.0	52.8	47.6	48.7	44.9	46.7	41.7	30.3	40.5	35.9	39.4	34.8	34.8			
	男性30代	(858)	(988)	65.0	47.7	35.6	49.1	47.7	47.8	45.4	45.0	37.5	27.5	34.3	26.6	30.5	30.4	25.0			
	男性40代	(858)	(1,279)	67.8	46.2	34.1	49.8	45.4	43.0	43.4	44.5	33.2	30.7	32.5	25.2	27.4	28.8	24.4			
	男性50代	(858)	(1,151)	76.8	46.8	34.3	53.9	43.7	47.2	43.1	47.0	30.9	30.6	32.9	20.2	20.5	22.9	20.9			
	男性60～64歳	(430)	(508)	80.8	51.4	37.0	58.0	49.0	52.7	49.1	47.5	29.0	34.5	34.0	21.3	23.8	30.7	17.8			
	女性15～19歳	(969)	(387)	51.3	65.8	81.4	53.0	62.5	58.9	57.6	45.8	66.4	38.9	39.0	42.8	42.1	31.2	39.1			
	女性20代	(1,179)	(830)	64.8	65.8	77.9	55.2	62.0	57.6	53.1	54.3	52.2	42.8	38.4	54.2	49.8	42.2	34.7			
	女性30代	(858)	(961)	75.2	75.3	79.2	56.7	58.1	57.1	55.4	52.0	43.5	44.0	32.4	51.5	46.0	40.1	27.4			
	女性40代	(858)	(1,256)	72.8	70.8	76.5	54.1	53.4	52.3	52.8	48.1	38.6	46.0	33.7	42.2	36.4	34.4	20.2			
女性50代	(858)	(1,154)	72.0	77.8	81.1	58.4	59.9	58.0	53.5	56.4	37.1	51.5	35.9	37.4	30.5	35.8	22.2				
女性60～64歳	(430)	(523)	70.9	77.5	82.9	59.9	58.2	54.6	52.9	55.7	35.6	50.9	37.7	29.8	25.4	31.3	23.5				

※全体スコアで降順ソート

性に関する知識（詳細）：BTM2（性年代別）

- 「アフターピル」「低用量ピル」については、若年層ではスコアが低い、高年層では高いのが特徴。

Q9:あなたは、以下の「性の知識」に関する項目について、十分な知識を持っていると思いますか。

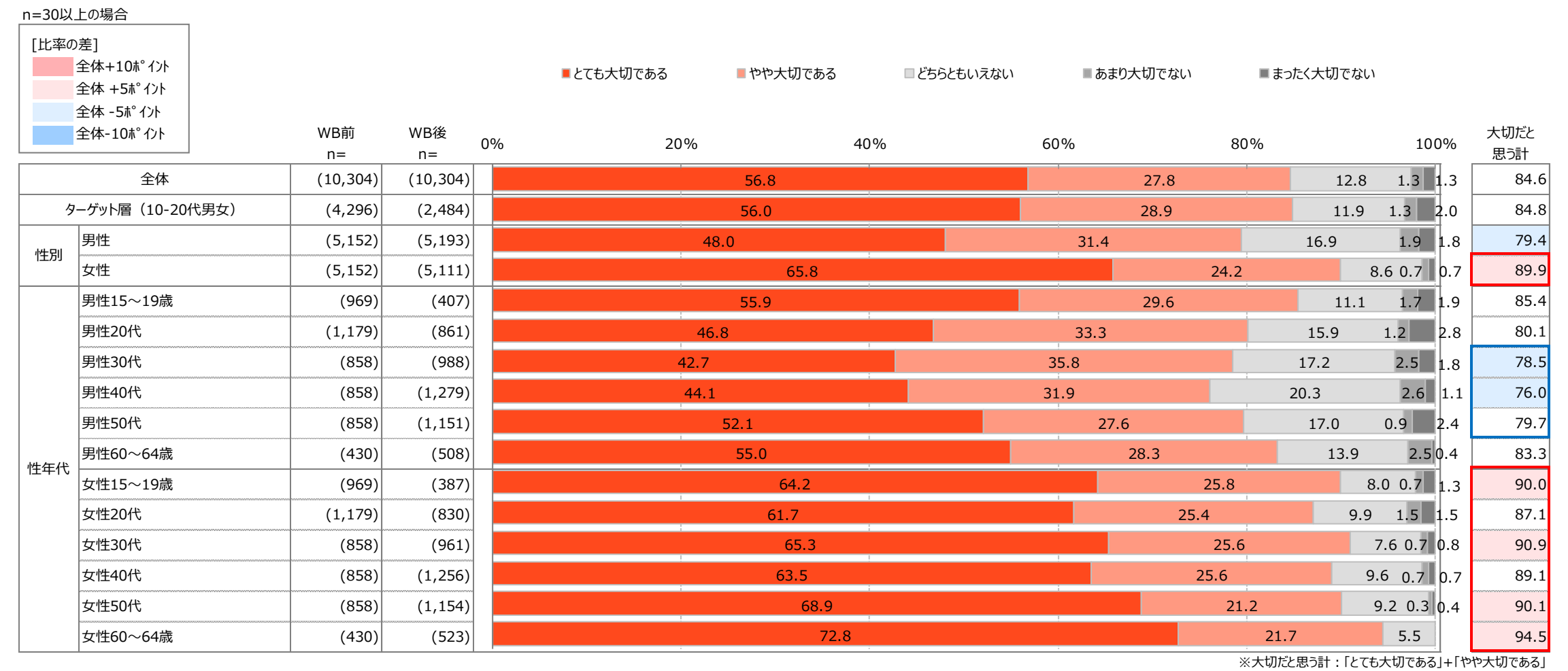
n=30以上の場合																		
[比率の差]																		

※全体スコアで降順ソート

性的同意の重視度（全ベース）

- 性的同意の重視度は8割中盤と、多くの人が重視している。
- 男性に比べ、女性の重視度が高い傾向にあり、女性はほとんどの年代で9割を超える。一方、男性30-50代は8割に留まっている。

Q14:あなたは、性的同意（キスや身体に触れること、性的な行為を含むすべてにおいて、相手の意思を確認し合うこと）はどの程度大切だと思いますか。

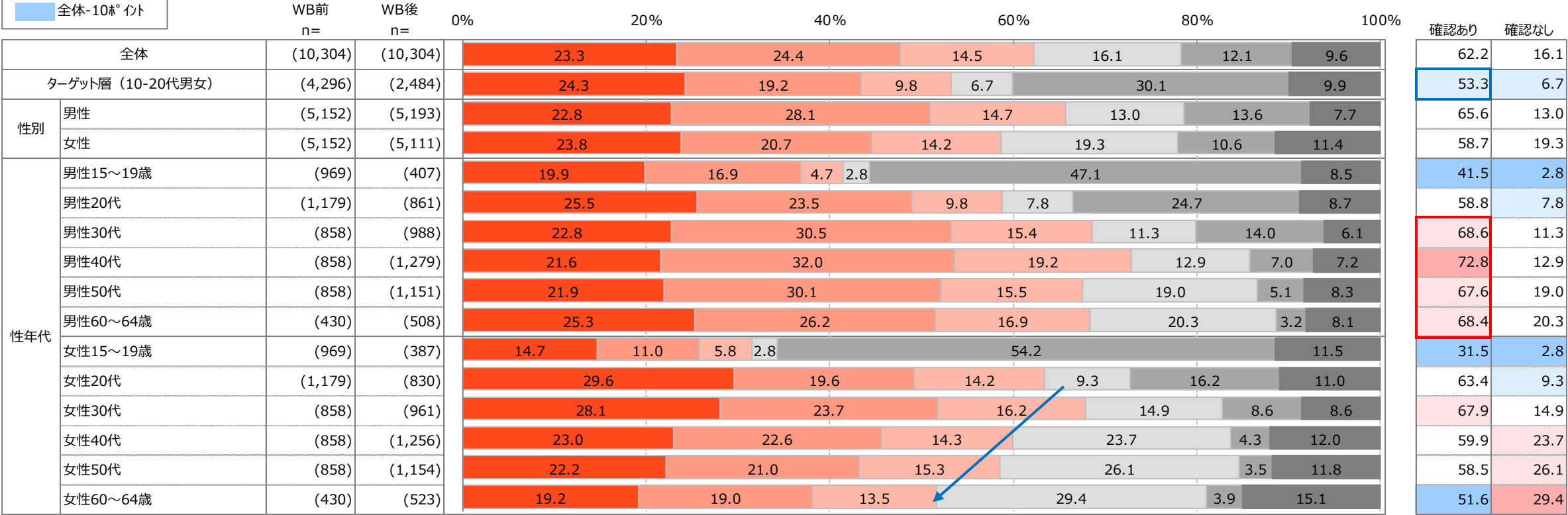
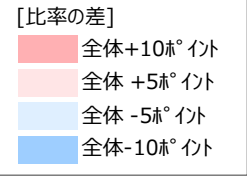


性的同意の実施実態（全ベース）

- 性的同意の確認実態は、全体で「確認あり」が6割強、「毎回同意を取れている」が2割強。ターゲット層は「性行為なし」が多く、「確認あり」スコアが低い。
- 女性より男性の実施率が高く、「確認あり」は男性30代以上で7割前後。一方、女性は年代が上がるにつれ「確認あり」が減少している（10代は性行為なしが多数）。

Q15:あなたは、性的同意（キスや身体に触れること、性的な行為を含むすべてにおいて、相手の意思を確認し合うこと）を相手に明確に確認できていると思いますか。

n=30以上の場合



※確認あり：「毎回確認していて、いつも同意を取れている自信がある」+「毎回確認しているつもりだが、いつも同意を取れている自信はない」+「ときどき確認していないことがある」

※確認なし：「確認をしたことがない」